

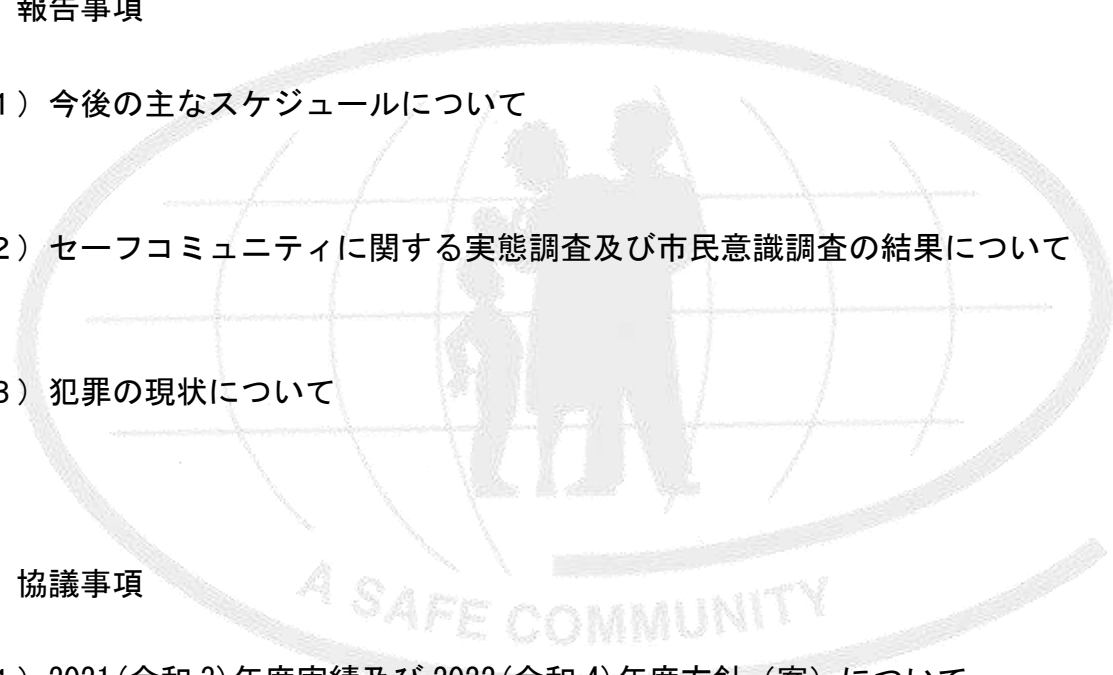
第25回（令和4年度第1回）  
セーフコミュニティ 防犯対策委員会

《会 議 次 第》

日時：令和4年6月15日（水） 14:00～

場所：久留米商工会館 5階 大ホール

1. 報告事項

- 
- (1) 今後の主なスケジュールについて
  - (2) セーフコミュニティに関する実態調査及び市民意識調査の結果について
  - (3) 犯罪の現状について

2. 協議事項

- (1) 2021(令和3)年度実績及び2022(令和4)年度方針(案)について
- (2) 事前指導のプレゼン資料(案)について
- (3) 広報啓発について

3. その他

- (1) 合同対策委員会におけるワークシートに関する報告

# 防犯対策委員会 委員名簿

(任期：令和4年7月31日まで)

R4.6.8現在

	団体等名称	委員名	役職
1	◎ 久留米市防犯協会連合会	猪飼 廣幸	副会長
2	○ 久留米市校区まちづくり連絡協議会	籾 敏博	幹事 (高良内校区会長)
3	久留米市老人クラブ連合会	荒川 良子	女性部会員
4	うきは防犯協会田主丸支部	倉富 義己	副会長 (田主丸支部長)
5	久留米市校区暴力追放推進協議会連絡会議	渡邊 浩二	会長
6	久留米男女共同参画推進ネットワーク	堀田 富子	会長
7	久留米市中学校長会	古賀 一英	筑邦西中学校校長
8	久留米市小学校長会	前田 信子	安武小学校校長
9	久留米市小・中学校PTA連合協議会	金谷 正永	西国分小PTA会長
10	久留米市校区青少年育成協議会連絡会議	江藤 孝子	理事
11	久留米商工会議所女性会	江崎 慶子	参与
12	文化街さくら会	古賀 三貴	会長
13	久留米警察署	上村 功一	生活安全課長
14	久留米市子ども未来部青少年育成課	原 稔治	課長
15	久留米市都市建設部道路整備課	岡部 健一	課長
16	久留米市教育部学校教育課	古賀 友理子	学務主幹
17	久留米市協働推進部消費生活センター	吉村 栄作	所長
18	久留米市協働推進部男女平等推進センター	酒井 香	所長
19	久留米市協働推進部安全安心推進課	今村 浩樹	課長

事務局：協働推進部安全安心推進課

◎：委員長  
○：副委員長

セーフコミュニティ年間スケジュール【令和4年度～令和5年度】

※セーフコミュニティ国際認証(再々認証)の取得を想定した場合のスケジュール

1. 報告事項(1)

業務	R4年度												R5年度											
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
SC推進組織					● 調整会議	● 本部会議	● ①推進協議会 ・R3実績R4方針 ・事前指導の内容・日程 ・プレゼン資料			年間活動報告書 (本番) ②推進協議会					● 調整会議	● 本部会議	● ①推進協議会 ・R4実績R5方針 ・現地審査の内容・日程 ・プレゼン資料 ・申請書提出(7月)					● 協議会委員の改選 年間活動報告書 再々認証式典・SCフェスタ		
対策委員会	対策委員会 合同		5~6月中旬 ①対策委員会 ・R3実績R4方針 ・事前指導の内容・日程 ・ワークショップ ・プレゼン資料案			7月下旬~8月 対策委員会 (正副委員長) ・事前指導に向けて ・プレゼン資料(最終)			本番直前 委員長リハ	(本番) ②対策委員会			③対策委員会 ・ワークショップ ・事前指導の講評 について			4月20日頃まで ①対策委員会 ・R4実績R5方針 ・現地審査の内容・日程 ・ワークショップ ・プレゼン資料案		本番直前 委員長リハ	(本番) ②対策委員会	R5年度内に開催 ③対策委員会 ・現地審査の講評について				
外傷等 動向調査委員会	書面開催		①外傷委員会 ・各対策委員会の 状況報告 ・プレゼン資料(案)			外傷委員会 (正副委員長) ・事前指導に向けて ・プレゼン資料(最終)			本番直前 委員長リハ	(本番) ②外傷委員会			③外傷委員会 ・事前指導の講評 について			4月20日頃まで ①外傷委員会 ・各対策委員会の 状況報告 ・プレゼン資料(案)		本番直前 委員長リハ	(本番) ②外傷委員会	R5年度内に開催 ③外傷委員会 ・現地審査の講評について				
申請書									(案)申請書 申請書作成準備		12月~1月 申請書(案)作成		JISCと調整	3月 [各事務局] ・加筆修正	JISCとの調整期間 2回目(最終)	4月末 日本語版 確定	5月 英訳	6月 申請書 提出						
プレゼン資料														2~4月 現地指導に向けて プレゼン資料修正	JISCと調整	JISCとの調整期間(最終)	5月末 日本語版 確定	英訳	7月 日本語版・ 英訳版 完成					
広報	YouTube			外傷		防犯		交通安全		防災		自殺予防		DV防止		児童虐待 防止		学校安全		高齢者の 安全				
	広報 くるめ				外傷		防犯		交通安全		防災		自殺予防		DV防止		児童虐待 防止		学校安全		高齢者の 安全			
	SC 通信			標語募集	外傷		防犯		交通安全		防災		自殺予防		DV防止		児童虐待 防止		学校安全		高齢者の 安全			

---

久留米市  
セーフコミュニティに関する実態調査  
報告書

---



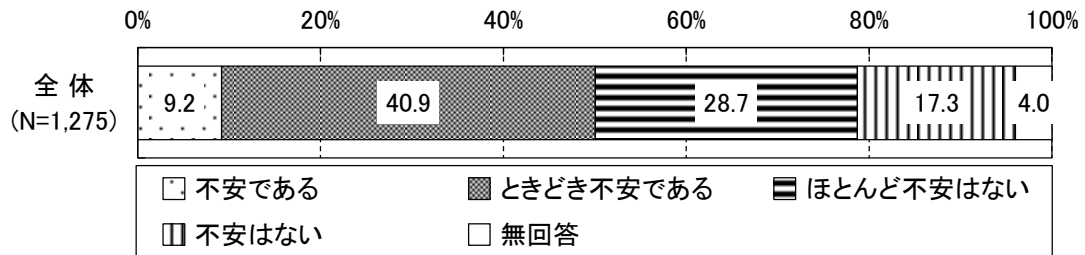
令和3年10月

## (1) 犯罪被害の不安

問 17. あなたは、生活の中で犯罪の被害にあうかもしれないという不安はありますか。(○はひとつ)

犯罪に対する不安がある人は5割強

●犯罪に対する不安について、「ときどき不安である」が40.9%で最も高い。



### 【属性別特徴】

- 「ときどき不安である」の割合を性別・年代別で見ると、男性・35～39歳、男性・45～49歳、男性・60～64歳、女性・40～64歳が、全体の割合に比べて高い。
- 「不安である」の割合を性別・年代別で見ると、男性・40～44歳、女性・30～39歳が、全体の割合に比べて高い。
- 「ときどき不安である」の割合をブロック別で見ると、東部A、南西部が、全体の割合に比べて高い。
- 「不安である」の割合をブロック別で見ると、北部Aが全体の割合に比べて高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	不安である	ときどき不安である	ほとんど不安はない	不安はない	無回答
全体		1,275 100.0	117 9.2	521 40.9	366 28.7	220 17.3	51 4.0
性別	男性	491 100.0	39 7.9	190 38.7	160 32.6	89 18.1	13 2.6
	女性	766 100.0	76 9.9	326 42.6	199 26.0	129 16.8	36 4.7
15～19歳	男性	21 100.0	0 0.0	7 33.3	9 42.9	5 23.8	0 0.0
	女性	27 100.0	5 18.5	8 29.6	6 22.2	8 29.6	0 0.0
20～24歳	男性	18 100.0	3 16.7	3 16.7	5 27.8	7 38.9	0 0.0
	女性	24 100.0	3 12.5	16 66.7	4 16.7	1 4.2	0 0.0
25～29歳	男性	17 100.0	4 23.5	3 17.6	6 35.3	4 23.5	0 0.0
	女性	28 100.0	3 10.7	15 53.6	5 17.9	5 17.9	0 0.0
30～34歳	男性	19 100.0	0 0.0	10 52.6	6 31.6	3 15.8	0 0.0
	女性	38 100.0	9 23.7	17 44.7	9 23.7	3 7.9	0 0.0
35～39歳	男性	33 100.0	3 9.1	19 57.6	8 24.2	3 9.1	0 0.0
	女性	59 100.0	9 15.3	27 45.8	15 25.4	8 13.6	0 0.0
40～44歳	男性	32 100.0	6 18.8	11 34.4	10 31.3	5 15.6	0 0.0
	女性	71 100.0	7 9.9	39 54.9	18 25.4	7 9.9	0 0.0
45～49歳	男性	43 100.0	3 7.0	20 46.5	17 39.5	3 7.0	0 0.0
	女性	61 100.0	4 6.6	33 54.1	19 31.1	5 8.2	0 0.0
50～54歳	男性	40 100.0	5 12.5	18 45.0	11 27.5	6 15.0	0 0.0
	女性	50 100.0	5 10.0	31 62.0	9 18.0	5 10.0	0 0.0
55～59歳	男性	35 100.0	4 11.4	15 42.9	9 25.7	7 20.0	0 0.0
	女性	63 100.0	5 7.9	34 54.0	15 23.8	9 14.3	0 0.0
60～64歳	男性	56 100.0	2 3.6	26 46.4	17 30.4	11 19.6	0 0.0
	女性	65 100.0	3 4.6	30 46.2	20 30.8	11 16.9	1 1.5
65～69歳	男性	46 100.0	2 4.3	14 30.4	19 41.3	9 19.6	2 4.3
	女性	75 100.0	5 6.7	24 32.0	30 40.0	15 20.0	1 1.3
70～74歳	男性	61 100.0	2 3.3	16 26.2	27 44.3	13 21.3	3 4.9
	女性	87 100.0	8 9.2	23 26.4	27 31.0	22 25.3	7 8.0
75～79歳	男性	29 100.0	2 6.9	12 41.4	5 17.2	9 31.0	1 3.4
	女性	53 100.0	4 7.5	12 22.6	9 17.0	15 28.3	13 24.5
80歳以上	男性	36 100.0	2 5.6	14 38.9	10 27.8	4 11.1	6 16.7
	女性	62 100.0	6 9.7	15 24.2	13 21.0	14 22.6	14 22.6

◆表 ブロック別◆

		サンプル数	不安である	ときどき不安である	ほとんど不安はない	不安はない	無回答
全体		1,275 100.0	117 9.2	521 40.9	366 28.7	220 17.3	51 4.0
ブロック別	東部A	91 100.0	8 8.8	45 49.5	21 23.1	13 14.3	4 4.4
	東部B	80 100.0	9 11.3	33 41.3	18 22.5	14 17.5	6 7.5
	北部A	113 100.0	19 16.8	45 39.8	28 24.8	18 15.9	3 2.7
	北部B	72 100.0	8 11.1	31 43.1	20 27.8	10 13.9	3 4.2
	中央東部	140 100.0	17 12.1	61 43.6	39 27.9	18 12.9	5 3.6
	南東部	108 100.0	10 9.3	38 35.2	36 33.3	19 17.6	5 4.6
	中央部	177 100.0	10 5.6	71 40.1	52 29.4	39 22.0	5 2.8
	中央南部	205 100.0	17 8.3	80 39.0	64 31.2	37 18.0	7 3.4
	南西部	125 100.0	7 5.6	58 46.4	35 28.0	21 16.8	4 3.2
	西部A	55 100.0	3 5.5	18 32.7	15 27.3	16 29.1	3 5.5
	西部B	74 100.0	7 9.5	28 37.8	25 33.8	11 14.9	3 4.1

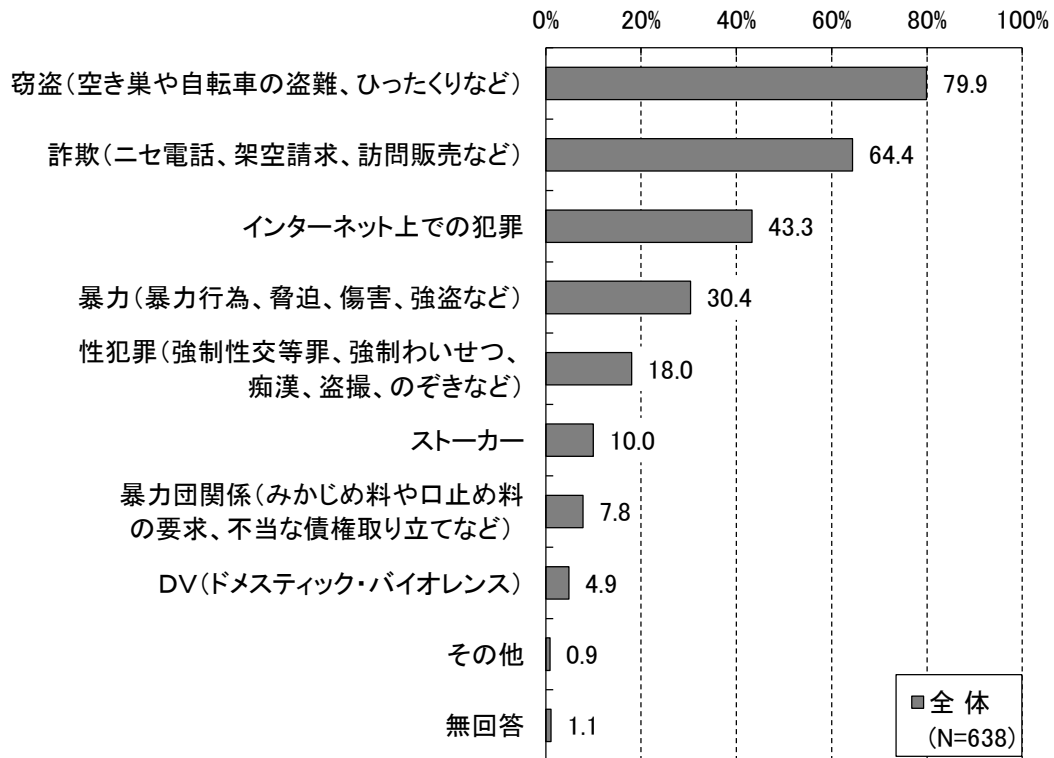
## (2) 不安を感じる犯罪

【問 17 で、「1」又は「2」と回答された方にお聞きします。】

問 17-1. あなたが、不安を感じる犯罪は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

8 割弱の人は「窃盗」を不安に感じている

●不安を感じる犯罪について、「窃盗」が 79.9%で最も高い。



### 【属性別特徴】

- 「窃盗」の割合を性別・年代別で見ると、男性・30～34歳、男性40～54歳、女性25～29歳、女性・45～49歳、女性・60～69歳が、全体の割合に比べて高い。
- 「詐欺」の割合を性別・年代別で見ると、男性・40～44歳、男性・65～69歳、男性・75～79歳、女性・50～64歳、女性80歳以上が、全体の割合に比べて高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	盗難、ひったくりなど	詐欺（ニセ電話、架空請求、訪問販売など）	インターネット上での犯罪	暴力（暴力行為、脅迫、傷害、強盗など）	強制的性交等罪、強姦、強姦未遂、痴漢、盗撮、のぞきなど	性犯罪（強制的性交等罪、強姦、強姦未遂、痴漢、盗撮、のぞきなど）	ストーカー	暴力団関係（みかじめ料や債権取り立てなど）	暴力団関係（みかじめ料や債権取り立てなど）	DV（ドメスティック・バイオレンス）	その他	無回答										
全体		638	510	411	276	194	115	64	50	31	6	7	100.0	79.9	64.4	43.3	30.4	18.0	10.0	7.8	4.9	0.9	1.1	
性別	男性	229	186	143	108	89	18	6	24	2	2	1	100.0	81.2	62.4	47.2	38.9	7.9	2.6	10.5	0.9	0.9	0.4	
	女性	402	319	262	165	102	97	58	26	29	4	6	100.0	79.4	65.2	41.0	25.4	14.4	6.5	7.2	7.2	1.0	1.5	
性別・年代別	15～19歳	7	5	3	4	1	0	0	0	0	0	0	100.0	71.4	42.9	57.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	13	10	6	6	7	9	6	4	4	0	0	100.0	76.9	46.2	46.2	53.8	69.2	46.2	30.8	30.8	0.0	0.0	0.0
20～24歳	男性	6	5	3	4	4	1	0	2	0	0	0	100.0	83.3	50.0	66.7	66.7	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	19	9	9	9	4	10	8	1	3	0	0	100.0	47.4	47.4	47.4	21.1	52.6	42.1	5.3	15.8	0.0	0.0	0.0
25～29歳	男性	7	4	2	4	4	1	1	1	0	0	0	100.0	57.1	28.6	57.1	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	18	16	11	7	5	7	3	2	1	0	1	100.0	88.9	61.1	38.9	27.8	38.9	16.7	11.1	5.6	0.0	0.0	5.6
30～34歳	男性	10	10	4	3	7	0	0	0	0	0	1	100.0	100.0	40.0	30.0	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	女性	26	22	18	8	10	11	5	4	2	0	0	100.0	84.6	69.2	30.8	38.5	42.3	19.2	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0
35～39歳	男性	22	15	10	13	13	1	0	3	0	0	1	100.0	68.2	45.5	59.1	59.1	4.5	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0	4.5
	女性	36	29	17	21	11	12	6	2	5	1	1	100.0	80.6	47.2	58.3	30.6	33.3	16.7	5.6	13.9	2.8	2.8	2.8
40～44歳	男性	17	15	13	8	11	2	1	1	1	0	0	100.0	88.2	76.5	47.1	64.7	11.8	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0
	女性	46	36	30	24	13	18	7	2	3	1	1	100.0	78.3	65.2	52.2	28.3	39.1	15.2	4.3	6.5	2.2	2.2	2.2
45～49歳	男性	23	21	15	12	7	4	1	2	0	1	0	100.0	91.3	65.2	52.2	30.4	17.4	4.3	8.7	0.0	4.3	0.0	0.0
	女性	37	33	24	21	7	9	6	2	3	0	0	100.0	89.2	64.9	56.8	18.9	24.3	16.2	5.4	8.1	0.0	0.0	0.0
50～54歳	男性	23	21	13	12	6	5	1	4	1	0	0	100.0	91.3	56.5	52.2	26.1	21.7	4.3	17.4	4.3	0.0	0.0	0.0
	女性	36	29	25	18	7	6	3	3	3	1	0	100.0	80.6	69.4	50.0	19.4	16.7	16.7	8.3	8.3	2.8	0.0	0.0
55～59歳	男性	19	16	13	9	6	1	0	3	0	0	0	100.0	84.2	68.4	47.4	31.6	5.3	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	39	33	29	19	9	9	5	1	4	0	0	100.0	84.6	74.4	48.7	23.1	23.1	12.8	2.6	10.3	0.0	0.0	0.0
60～64歳	男性	28	23	18	15	8	1	1	1	0	0	0	100.0	82.1	64.3	53.6	28.6	3.6	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	33	31	24	24	9	6	2	1	2	0	0	100.0	93.9	72.7	27.3	18.2	6.1	3.0	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	男性	16	12	12	10	6	1	1	2	0	0	0	100.0	75.0	75.0	62.5	37.5	6.3	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	29	26	17	10	8	2	2	0	0	0	0	100.0	89.7	58.6	34.5	27.6	6.9	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70～74歳	男性	18	14	12	5	5	0	0	2	0	0	0	100.0	77.8	66.7	27.8	27.8	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	31	26	21	9	10	2	2	2	2	1	1	100.0	83.9	67.7	29.0	32.3	6.5	6.5	6.5	3.2	3.2	3.2	3.2
75～79歳	男性	14	11	11	3	4	0	0	1	0	0	0	100.0	78.6	78.6	21.4	28.6	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	16	9	11	2	3	0	0	0	1	0	0	100.0	56.3	68.8	12.5	18.8	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3
80歳以上	男性	16	11	11	4	6	0	0	2	0	0	0	100.0	68.8	68.8	25.0	37.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	21	9	18	1	2	0	1	0	0	0	0	100.0	42.9	85.7	4.8	9.5	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8

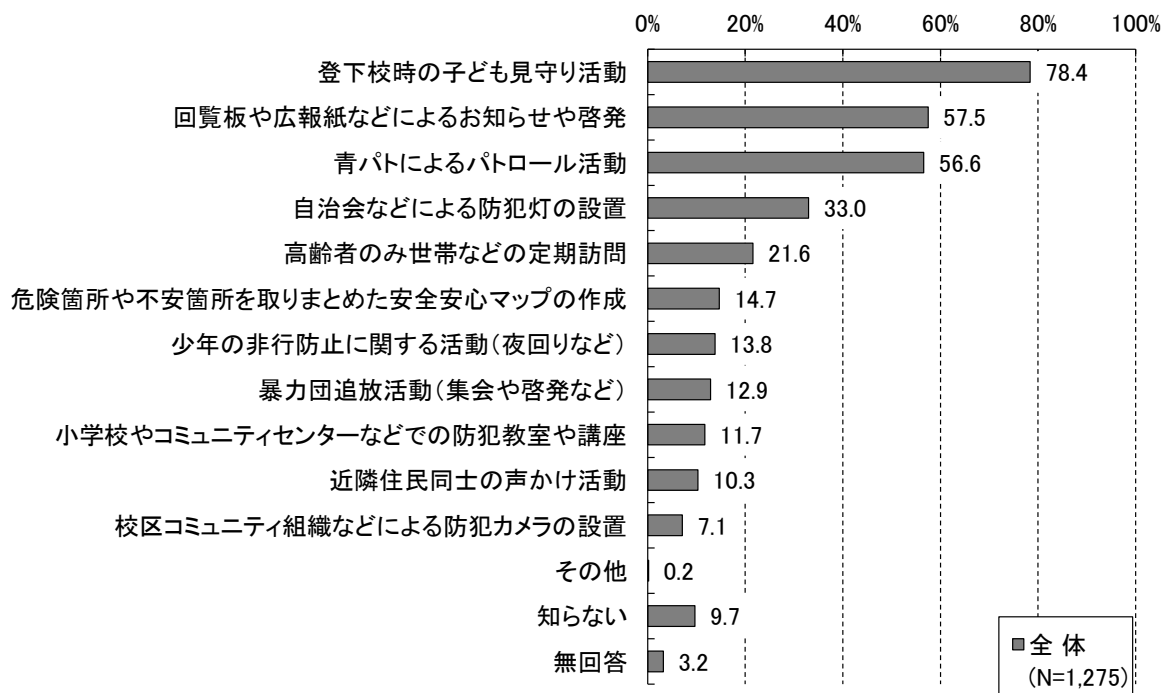


### (3) 地域で行われている防犯活動の認知度

問 18. あなたは、お住まいの地域で行われている防犯活動を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

8 割弱の人は「登下校時の子ども見守り活動」を知っている

- 地域で行われている防犯活動の認知度について、「登下校時の子ども見守り活動」が 78.4%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 「登下校時の子ども見守り活動」の割合を性別・年代別で見ると、男性・40～44歳、男性・55～59歳、女性・40～64歳が、全体の割合に比べて高い。
- 「回覧板や広報紙などによるお知らせや啓発」の割合を性別・年代別で見ると、男性・55～59歳、男性・70～74歳、女性・35～39歳、女性・55～69歳が、全体の割合に比べて高い。
- 「登下校時の子ども見守り活動」の割合をブロック別で見ると、東部Aが全体の割合に比べて高い。
- 「青パトによるパトロール活動」の割合をブロック別で見ると、東部A、東部B、南西部が、全体の割合に比べて高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	登下校時の子ども見守り活動	回覧板や広報紙などによるお知らせや啓発	青パトによるパトロール活動	設置自治会などによる防犯灯の	高齢者のみ世帯などの定期訪問	危険箇所や不安箇所を取りまとめた安全安心マップの作成	(夜回りなど)少年の非行防止に関する活動	暴力団追放活動(集会や啓発など)	小学校やコミュニティセンタリなどでの防犯教室や講座	近隣住民同士の声かけ活動	校区コミュニティ組織などによる防犯カメラの設置	その他	知らない	無回答
全体		1,275 100.0	999 78.4	733 57.5	722 56.6	421 33.0	275 21.6	188 14.7	176 13.8	165 12.9	149 11.7	131 10.3	90 7.1	2 0.2	124 9.7	41 3.2
性別	男性	491 100.0	381 77.6	268 54.6	288 58.7	172 35.0	101 20.6	65 13.2	68 13.8	81 16.5	55 11.2	48 9.8	45 9.2	0 0.0	50 10.2	13 2.6
	女性	766 100.0	606 79.1	457 59.7	423 55.2	242 31.6	169 22.1	122 15.9	105 13.7	83 10.8	92 12.0	80 10.4	44 5.7	2 0.3	72 9.4	26 3.4
15~19歳	男性	21 100.0	15 71.4	12 57.1	15 71.4	3 14.3	2 9.5	3 14.3	3 14.3	4 19.0	6 28.6	1 4.8	1 4.8	0 0.0	3 14.3	0 0.0
	女性	27 100.0	22 81.5	14 51.9	16 59.3	4 14.8	1 3.7	7 25.9	5 18.5	4 14.8	11 40.7	2 7.4	3 11.1	0 0.0	4 14.8	0 0.0
20~24歳	男性	18 100.0	15 83.3	7 38.9	10 55.6	0 0.0	3 16.7	3 16.7	2 11.1	3 16.7	3 16.7	2 11.1	0 0.0	0 0.0	3 16.7	0 0.0
	女性	24 100.0	18 75.0	6 25.0	9 37.5	2 8.3	2 8.3	2 8.3	4 16.7	2 8.3	5 20.8	3 12.5	4 16.7	0 0.0	4 16.7	0 0.0
25~29歳	男性	17 100.0	14 82.4	5 29.4	11 64.7	2 11.8	2 11.8	2 11.8	2 11.8	2 11.8	2 11.8	2 11.8	2 11.8	0 0.0	5 29.4	0 0.0
	女性	28 100.0	20 71.4	11 39.3	9 32.1	0 0.0	2 7.1	1 3.6	2 7.1	1 3.6	1 3.6	1 3.6	0 0.0	0 0.0	8 28.6	0 0.0
30~34歳	男性	19 100.0	14 73.7	5 26.3	7 36.8	1 5.3	0 0.0	2 10.5	0 0.0	3 15.8	0 0.0	0 0.0	1 5.3	0 0.0	4 21.1	0 0.0
	女性	38 100.0	30 78.9	22 57.9	21 55.3	7 18.4	4 10.5	6 15.8	4 10.5	6 15.8	7 18.4	3 7.9	2 5.3	0 0.0	3 7.9	0 0.0
35~39歳	男性	33 100.0	23 69.7	13 39.4	15 45.5	9 27.3	1 3.0	7 21.2	5 15.2	7 21.2	7 21.2	1 3.0	5 15.2	0 0.0	7 21.2	0 0.0
	女性	59 100.0	48 81.4	37 62.7	34 57.6	11 18.6	6 10.2	12 20.3	7 11.9	4 6.8	10 16.9	6 10.2	2 3.4	0 0.0	7 11.9	0 0.0
40~44歳	男性	32 100.0	27 84.4	15 46.9	27 68.8	11 34.4	8 25.0	5 15.6	7 21.9	9 28.1	7 21.9	1 3.1	3 9.4	0 0.0	6 6.3	0 0.0
	女性	71 100.0	62 87.3	43 60.6	46 64.8	17 23.9	13 18.3	9 12.7	8 11.3	3 4.2	11 15.5	5 7.0	3 4.2	1 1.4	6 8.5	0 0.0
45~49歳	男性	43 100.0	29 67.4	20 46.5	19 44.2	9 20.9	7 16.3	3 7.0	5 11.6	4 9.3	2 4.7	2 4.7	6 14.0	0 0.0	7 16.3	0 0.0
	女性	61 100.0	53 86.9	36 59.0	37 60.7	17 27.9	10 16.4	17 27.9	11 18.0	10 16.4	10 16.4	3 4.9	2 3.3	1 1.6	5 8.2	0 0.0
50~54歳	男性	40 100.0	32 80.0	22 55.0	22 55.0	11 27.5	6 15.0	8 20.0	6 15.0	8 20.0	7 17.5	4 10.0	8 20.0	0 0.0	6 15.0	0 0.0
	女性	50 100.0	43 86.0	30 60.0	25 50.0	18 36.0	15 30.0	14 28.0	12 24.0	8 16.0	11 22.0	7 14.0	5 10.0	0 0.0	4 8.0	0 0.0
55~59歳	男性	35 100.0	31 88.6	26 74.3	21 60.0	14 40.0	10 28.6	6 17.1	6 17.1	3 8.6	2 5.7	4 11.4	2 5.7	0 0.0	1 2.9	0 0.0
	女性	63 100.0	54 85.7	43 68.3	41 65.1	27 42.9	17 27.0	15 23.8	11 17.5	8 12.7	3 4.8	2 3.2	7 11.1	0 0.0	3 4.8	0 0.0
60~64歳	男性	56 100.0	43 76.8	28 50.0	34 60.7	24 42.9	9 16.1	4 7.1	6 10.7	4 7.1	3 5.4	7 12.5	3 5.4	0 0.0	5 8.9	0 0.0
	女性	65 100.0	60 92.3	49 75.4	46 70.8	29 44.6	19 29.2	11 16.9	14 21.5	11 16.9	10 15.4	6 9.2	6 9.2	0 0.0	0 0.0	1 1.5
65~69歳	男性	46 100.0	36 78.3	26 56.5	30 65.2	20 43.5	11 23.9	7 15.2	7 15.2	7 15.2	2 4.3	4 8.7	3 6.5	0 0.0	4 8.7	3 6.5
	女性	75 100.0	59 78.7	54 72.0	46 61.3	35 46.7	22 29.3	11 14.7	10 13.3	4 5.3	3 4.0	12 16.0	3 4.0	0 0.0	7 9.3	1 1.3
70~74歳	男性	61 100.0	45 73.8	40 65.6	41 67.2	32 52.5	20 32.8	7 11.5	10 16.4	14 23.0	8 13.1	6 9.8	5 8.2	0 0.0	4 6.6	4 6.6
	女性	87 100.0	62 71.3	49 56.3	47 54.0	33 37.9	23 26.4	8 9.2	8 9.2	12 13.8	6 6.9	14 16.1	5 5.7	0 0.0	10 11.5	7 8.0
75~79歳	男性	29 100.0	26 89.7	25 86.2	24 82.8	19 65.5	10 34.5	4 13.8	4 13.8	6 20.7	2 6.9	7 24.1	3 10.3	0 0.0	1 3.4	0 0.0
	女性	53 100.0	34 64.2	27 50.9	27 50.9	18 34.0	13 24.5	2 3.8	1 1.9	7 13.2	1 1.9	6 11.3	1 1.9	0 0.0	4 7.5	9 17.0
80歳以上	男性	36 100.0	28 77.8	21 58.3	15 41.7	16 44.4	12 33.3	4 11.1	5 13.9	7 19.4	4 11.1	7 19.4	3 8.3	0 0.0	2 5.6	5 13.9
	女性	62 100.0	38 61.3	33 53.2	18 29.0	21 33.9	21 33.9	7 11.3	1 1.6	2 3.2	2 3.2	10 16.1	1 1.6	0 0.0	7 11.3	8 12.9

◆表 ブロック別◆

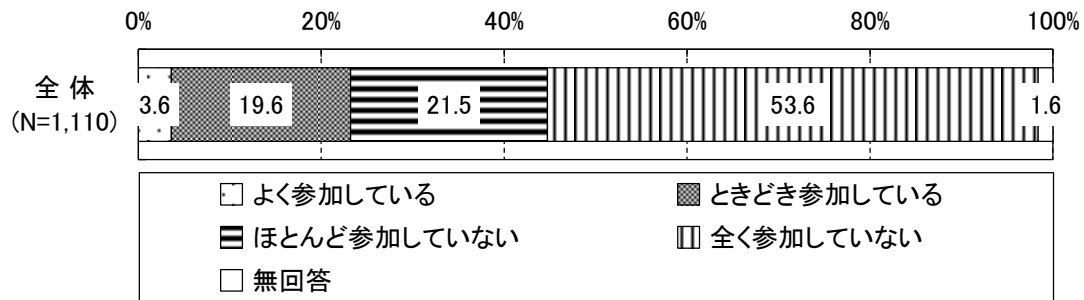
	サンプル数	登下校時の子ども見守り活動	お知らせや啓発	青パトによるパトロール活動	自治会などによる防犯灯の設置	高齢者のみ世帯などの定期訪問	危険箇所や不安箇所を取りまとめた安全安心マップの作成	少年の非行防止に関する活動（夜回りなど）	暴力団追放活動（集会や啓発など）	小学校やコミュニティセンターなどの防犯教室や講座	近隣住民同士の声かけ活動	校区コミュニティ組織などによる防犯カメラの設置	その他	知らない	無回答	
全体	1,275 100.0	999 78.4	733 57.5	722 56.6	421 33.0	275 21.6	188 14.7	176 13.8	165 12.9	149 11.7	131 10.3	90 7.1	2 0.2	124 9.7	41 3.2	
ブロック別	東部A	91 100.0	78 85.7	59 64.8	66 72.5	40 44.0	23 25.3	14 15.4	12 13.2	14 15.4	12 8.8	8 5.5	5 0.0	8 8.8	3 3.3	
	東部B	80 100.0	63 78.8	45 56.3	51 63.8	29 36.3	27 33.8	7 8.8	9 11.3	7 8.8	10 12.5	14 17.5	11 13.8	0 0.0	4 5.0	5 6.3
	北部A	113 100.0	93 82.3	65 57.5	63 55.8	33 29.2	24 21.2	16 14.2	28 24.8	17 15.0	19 16.8	10 8.8	11 9.7	0 0.0	12 10.6	3 2.7
	北部B	72 100.0	60 83.3	42 58.3	44 61.1	33 45.8	15 20.8	11 15.3	7 9.7	8 11.1	7 9.7	8 11.1	2 2.8	0 0.0	5 6.9	3 4.2
	中央東部	140 100.0	112 80.0	65 46.4	63 45.0	41 29.3	20 14.3	27 19.3	23 16.4	23 16.4	25 17.9	12 8.6	11 7.9	0 0.0	16 11.4	4 2.9
	南東部	108 100.0	82 75.9	76 70.4	60 55.6	47 43.5	17 15.7	17 15.7	10 9.3	15 13.9	17 15.7	9 8.3	7 6.5	1 0.9	4 3.7	3 2.8
	中央部	177 100.0	132 74.6	92 52.0	91 51.4	43 24.3	21 11.9	25 14.1	24 13.6	27 15.3	12 6.8	6 3.4	17 9.6	1 0.6	21 11.9	5 2.8
	中央南部	205 100.0	156 76.1	119 58.0	122 59.5	53 25.9	54 26.3	35 17.1	34 16.6	28 13.7	22 10.7	29 14.1	13 6.3	0 0.0	24 11.7	7 3.4
	南西部	125 100.0	100 80.0	81 64.8	83 66.4	48 38.4	32 25.6	18 14.4	14 11.2	15 12.0	9 7.2	8 6.4	6 4.8	0 0.0	10 8.0	2 1.6
	西部A	55 100.0	44 80.0	36 65.5	31 56.4	20 36.4	16 29.1	7 12.7	9 16.4	4 7.3	8 14.5	12 21.8	3 5.5	0 0.0	5 9.1	2 3.6
	西部B	74 100.0	57 77.0	43 58.1	34 45.9	27 36.5	22 29.7	9 12.2	4 5.4	5 6.8	5 6.8	12 16.2	2 2.7	0 0.0	7 9.5	2 2.7

#### (4) 防犯活動への参加状況

問 19. あなたは、問 18 であげた防犯活動のいずれかに参加していますか。(○はひとつ)

防犯活動に「参加している（よく参加・ときどき参加）」人は 2 割強

●防犯活動の参加状況について、「全く参加していない」が 53.6%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 「全く参加していない」の割合を性別・年代別で見ると、男性・40～44歳、男性・60～64歳、女性・30～34歳、女性・45～49歳が、全体の割合に比べて高い。
- 「参加している」の割合を性別・年代別で見ると、男性・50～54歳、男性・65～74歳、女性・35～44歳、女性・70～74歳が、全体の割合に比べて高い。
- 「全く参加していない」の割合をブロック別で見ると、中央東部、中央部が、全体の割合に比べて高い。
- 「参加している」の割合をブロック別で見ると、東部A、東部B、南西部、西部Aが、全体の割合に比べて高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	よく参加している	ときどき参加している	ほとんど参加していない	全く参加していない	無回答
全体		1,110 100.0	40 3.6	218 19.6	239 21.5	595 53.6	18 1.6
性別	男性	428 100.0	27 6.3	82 19.2	78 18.2	237 55.4	4 0.9
	女性	668 100.0	12 1.8	132 19.8	157 23.5	353 52.8	14 2.1
15～19歳	男性	18 100.0	0 0.0	4 22.2	2 11.1	<b>12</b> <b>66.7</b>	0 0.0
	女性	23 100.0	0 0.0	3 13.0	5 21.7	<b>15</b> <b>65.2</b>	0 0.0
20～24歳	男性	15 100.0	0 0.0	2 13.3	2 13.3	<b>11</b> <b>73.3</b>	0 0.0
	女性	20 100.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	<b>19</b> <b>95.0</b>	0 0.0
25～29歳	男性	16 100.0	0 0.0	0 0.0	2 12.5	<b>14</b> <b>87.5</b>	0 0.0
	女性	20 100.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	<b>19</b> <b>95.0</b>	0 0.0
30～34歳	男性	15 100.0	1 6.7	1 6.7	1 6.7	<b>12</b> <b>80.0</b>	0 0.0
	女性	35 100.0	0 0.0	3 8.6	2 5.7	<b>29</b> <b>82.9</b>	1 2.9
35～39歳	男性	26 100.0	0 0.0	3 11.5	3 11.5	<b>20</b> <b>76.9</b>	0 0.0
	女性	52 100.0	2 3.8	<b>14</b> <b>26.9</b>	12 23.1	24 46.2	0 0.0
40～44歳	男性	30 100.0	1 3.3	5 16.7	5 16.7	<b>19</b> <b>63.3</b>	0 0.0
	女性	65 100.0	2 3.1	<b>18</b> <b>27.7</b>	14 21.5	31 47.7	0 0.0
45～49歳	男性	36 100.0	2 5.6	5 13.9	<b>10</b> <b>27.8</b>	19 52.8	0 0.0
	女性	56 100.0	0 0.0	9 16.1	12 21.4	<b>35</b> <b>62.5</b>	0 0.0
50～54歳	男性	34 100.0	0 0.0	<b>11</b> <b>32.4</b>	5 14.7	18 52.9	0 0.0
	女性	46 100.0	0 0.0	7 15.2	<b>15</b> <b>32.6</b>	24 52.2	0 0.0
55～59歳	男性	34 100.0	0 0.0	5 14.7	<b>15</b> <b>44.1</b>	14 41.2	0 0.0
	女性	60 100.0	0 0.0	13 21.7	<b>20</b> <b>33.3</b>	27 45.0	0 0.0
60～64歳	男性	51 100.0	1 2.0	8 15.7	11 21.6	<b>30</b> <b>58.8</b>	1 2.0
	女性	64 100.0	2 3.1	11 17.2	14 21.9	35 54.7	2 3.1
65～69歳	男性	39 100.0	<b>5</b> <b>12.8</b>	9 23.1	7 17.9	18 46.2	0 0.0
	女性	67 100.0	1 1.5	11 16.4	<b>20</b> <b>29.9</b>	33 49.3	2 3.0
70～74歳	男性	53 100.0	<b>6</b> <b>11.3</b>	<b>15</b> <b>28.3</b>	6 11.3	26 49.1	0 0.0
	女性	70 100.0	2 2.9	<b>22</b> <b>31.4</b>	<b>19</b> <b>27.1</b>	24 34.3	3 4.3
75～79歳	男性	28 100.0	<b>6</b> <b>21.4</b>	<b>9</b> <b>32.1</b>	3 10.7	9 32.1	1 3.6
	女性	40 100.0	1 2.5	9 22.5	<b>12</b> <b>30.0</b>	17 42.5	1 2.5
80歳以上	男性	29 100.0	<b>5</b> <b>17.2</b>	4 13.8	5 17.2	13 44.8	2 6.9
	女性	47 100.0	2 4.3	9 19.1	10 21.3	21 44.7	5 10.6

◆表 ブロック別◆

		サンプル数	よく参加している	ときどき参加している	ほとんど参加していない	全く参加していない	無回答
全体		1,110 100.0	40 3.6	218 19.6	239 21.5	595 53.6	18 1.6
ブロック別	東部A	80 100.0	<b>7</b> <b>8.8</b>	<b>22</b> <b>27.5</b>	17 21.3	34 42.5	0 0.0
	東部B	71 100.0	5 7.0	<b>24</b> <b>33.8</b>	15 21.1	26 36.6	1 1.4
	北部A	98 100.0	5 5.1	21 21.4	21 21.4	50 51.0	1 1.0
	北部B	64 100.0	1 1.6	10 15.6	14 21.9	37 57.8	2 3.1
	中央東部	120 100.0	2 1.7	21 17.5	17 14.2	<b>77</b> <b>64.2</b>	3 2.5
	南東部	101 100.0	1 1.0	15 14.9	25 24.8	58 57.4	2 2.0
	中央部	151 100.0	2 1.3	16 10.6	24 15.9	<b>107</b> <b>70.9</b>	2 1.3
	中央南部	174 100.0	6 3.4	31 17.8	37 21.3	98 56.3	2 1.1
	南西部	113 100.0	4 3.5	<b>30</b> <b>26.5</b>	<b>30</b> <b>26.5</b>	46 40.7	3 2.7
	西部A	48 100.0	4 8.3	11 22.9	8 16.7	24 50.0	1 2.1
	西部B	65 100.0	2 3.1	11 16.9	<b>25</b> <b>38.5</b>	26 40.0	1 1.5

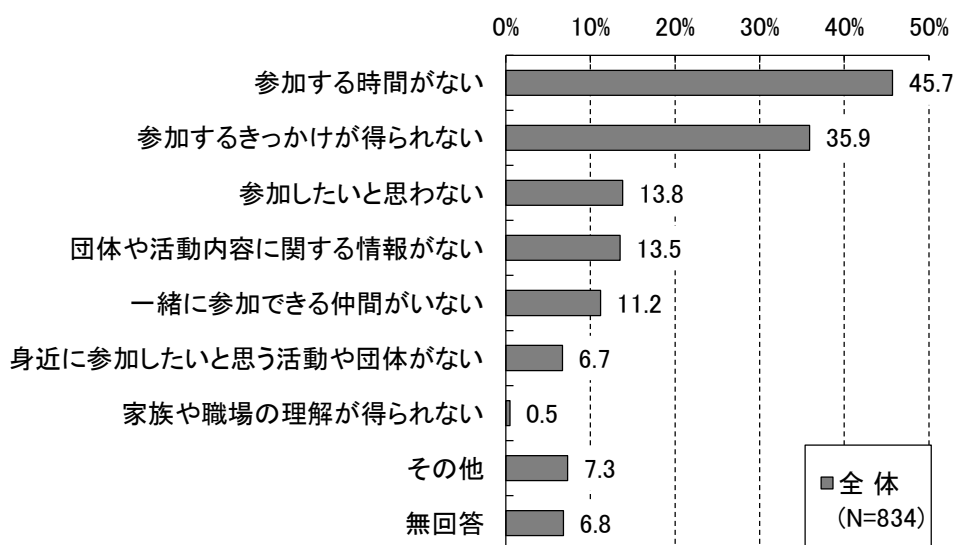
## (5) 防犯活動に参加していない理由

【問 19 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。】

問 19-1. あなたは、問 18 であげた防犯活動に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

防犯活動に参加していない理由は、「参加する時間がない」人が 5 割弱

- 防犯活動に参加していない理由について、「参加する時間がない」が 45.7%で最も高い。
- その他の内訳について、「家族の一人が参加しているため自分はしていない」や「子どもが小学校を卒業したから」、「体力がない」、「高齢のため」などの意見がみられた。



### 【属性別特徴】

- 「参加する時間がない」の割合を性別・年代別で見ると、男性・20～24歳、男性30～59歳、女性・25～34歳、女性・40～54歳が、全体の割合に比べて高い。
- 「参加するきっかけが得られない」の割合を性別・年代別で見ると、男性・60～64歳、女性・30～44歳、女性・55～64歳が、全体の割合に比べて高い。

◆表 性別・年代別◆

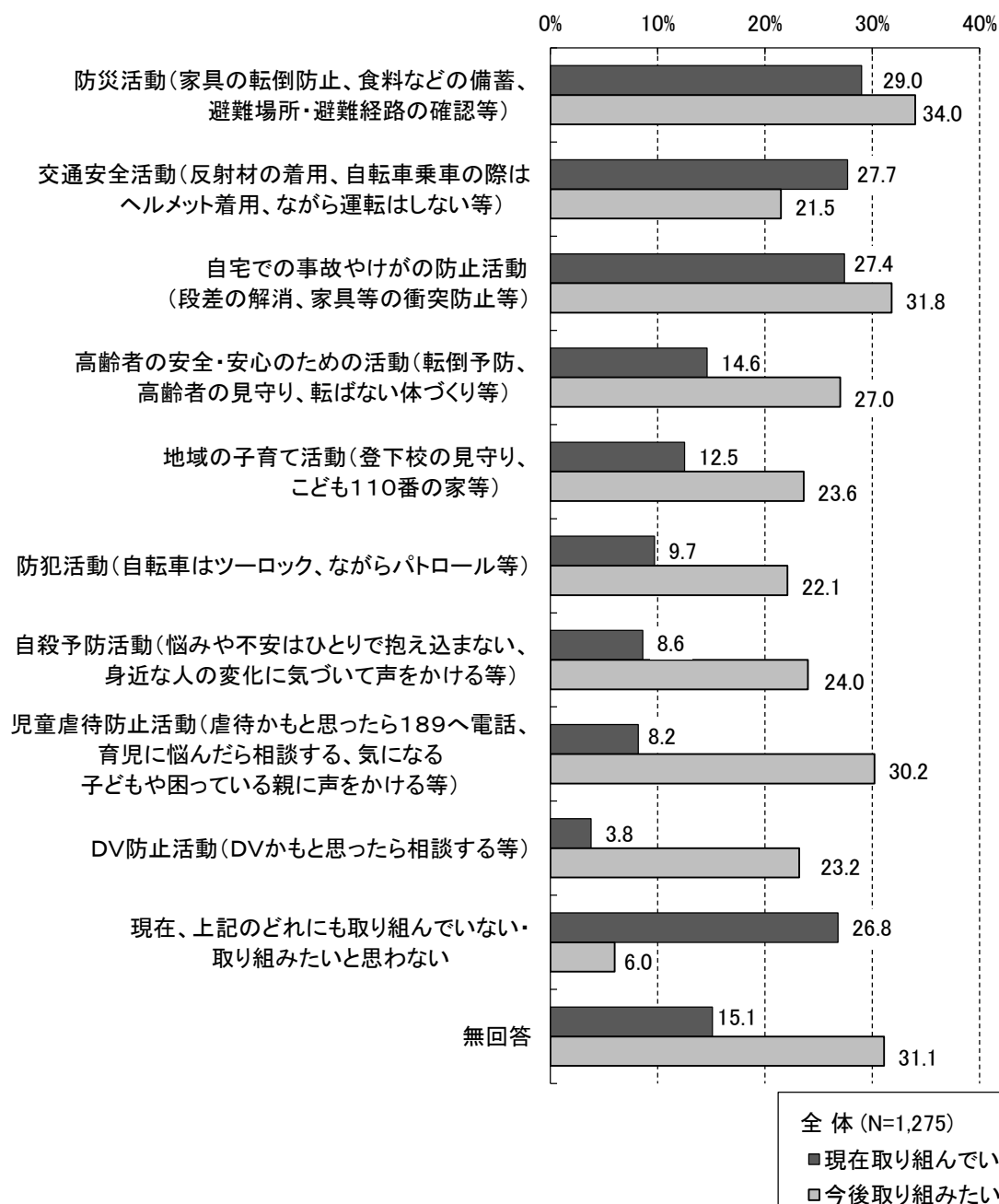
		サンプル数	参加する時間がない	参加するきっかけが得られない	参加したいと思わない	団体や活動内容に関する情報が無い	一緒に参加できる仲間がいない	活動や団体が無いと思う	身近に参加したいと思う	家族や職場の理解が得られない	その他	無回答
全体		834 100.0	381 45.7	299 35.9	115 13.8	113 13.5	93 11.2	56 6.7	4 0.5	61 7.3	57 6.8	
性別	男性	315 100.0	147 46.7	102 32.4	55 17.5	42 13.3	27 8.6	17 5.4	0 0.0	25 7.9	18 5.7	
	女性	510 100.0	229 44.9	196 38.4	59 11.6	70 13.7	65 12.7	39 7.6	4 0.8	35 6.9	37 7.3	
性別・年代別	15～19歳	男性	14 100.0	7 50.0	4 28.6	2 14.3	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1
		女性	20 100.0	9 45.0	11 55.0	2 10.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～24歳	男性	13 100.0	9 69.2	8 61.5	2 15.4	3 23.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		女性	19 100.0	9 47.4	9 47.4	2 10.5	4 21.1	2 10.5	1 5.3	0 0.0	1 5.3	2 10.5
	25～29歳	男性	16 100.0	7 43.8	6 37.5	3 18.8	3 18.8	3 18.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		女性	20 100.0	13 65.0	10 50.0	4 20.0	3 15.0	2 10.0	3 15.0	1 5.0	0 0.0	1 5.0
	30～34歳	男性	13 100.0	7 53.8	3 23.1	4 30.8	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	1 7.7
		女性	31 100.0	16 51.6	15 48.4	5 16.1	4 12.9	3 9.7	2 6.5	1 3.2	0 0.0	1 3.2
	35～39歳	男性	23 100.0	12 52.2	9 39.1	6 26.1	2 8.7	0 0.0	1 4.3	0 0.0	1 4.3	2 8.7
		女性	36 100.0	18 50.0	16 44.4	5 13.9	7 19.4	6 16.7	4 11.1	0 0.0	2 5.6	0 0.0
	40～44歳	男性	24 100.0	17 70.8	6 25.0	5 20.8	1 4.2	1 4.2	1 4.2	0 0.0	0 0.0	1 4.2
		女性	45 100.0	30 66.7	20 44.4	8 17.8	4 8.9	7 15.6	2 4.4	0 0.0	2 4.4	0 0.0
	45～49歳	男性	29 100.0	18 62.1	9 31.0	5 17.2	2 6.9	1 3.4	2 6.9	0 0.0	1 3.4	1 3.4
		女性	47 100.0	29 61.7	16 34.0	2 4.3	6 12.8	6 12.8	2 4.3	0 0.0	2 4.3	1 2.1
	50～54歳	男性	23 100.0	15 65.2	8 34.8	1 4.3	3 13.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.3	2 8.7
		女性	39 100.0	24 61.5	15 38.5	3 7.7	3 7.7	3 7.7	1 2.6	2 5.1	0 0.0	0 0.0
	55～59歳	男性	29 100.0	15 51.7	11 37.9	5 17.2	3 10.3	3 27.6	0 0.0	0 0.0	3 10.3	0 0.0
		女性	47 100.0	23 48.9	24 51.1	8 17.0	2 4.3	5 10.6	2 4.3	0 0.0	1 2.1	0 0.0
	60～64歳	男性	41 100.0	17 41.5	18 43.9	2 4.9	10 24.4	3 7.3	5 12.2	0 0.0	1 2.4	2 4.9
		女性	49 100.0	22 44.9	24 49.0	5 10.2	11 22.4	7 14.3	7 14.3	0 0.0	0 0.0	2 4.1
65～69歳	男性	25 100.0	7 28.0	7 28.0	6 24.0	6 24.0	3 12.0	2 8.0	0 0.0	1 4.0	2 8.0	
	女性	53 100.0	24 45.3	15 28.3	5 9.4	12 22.6	10 18.9	3 5.7	1 1.9	3 5.7	6 11.3	
70～74歳	男性	32 100.0	10 31.3	5 15.6	11 34.4	0 0.0	1 3.1	2 6.3	0 0.0	4 12.5	2 6.3	
	女性	43 100.0	10 23.3	10 23.3	4 9.3	7 16.3	6 14.0	5 11.6	0 0.0	5 11.6	7 16.3	
75～79歳	男性	12 100.0	1 8.3	4 33.3	0 0.0	4 33.3	2 16.7	1 8.3	0 0.0	3 25.0	2 16.7	
	女性	29 100.0	2 6.9	5 17.2	2 6.9	4 13.8	5 17.2	2 6.9	0 0.0	5 17.2	8 27.6	
80歳以上	男性	18 100.0	2 11.1	3 16.7	3 16.7	1 5.6	3 16.7	2 11.1	0 0.0	9 50.0	2 11.1	
	女性	31 100.0	0 0.0	6 19.4	4 12.9	2 6.5	1 3.2	2 6.5	0 0.0	11 35.5	9 29.0	

(6) 現在取り組んでいる、今後取り組みたい安全・安心の取り組み

問 3-1. あなたの安全・安心の取り組みについて、該当するものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

現在、「防災活動」に取り組んでいる人は 3 割弱  
 今後、「防災活動」に取り組みたい人は 3 割強

- 現在取り組んでいる安全・安心の取り組みについて、「防災活動」が 29.0%で最も高く、「交通安全活動」が 27.7%と続く。
- 今後取り組みたい安全・安心の取り組みについて、「防災活動」が 34.0%で最も高く、「自宅での事故やけがの防止活動」が 31.8%と続く。





【属性別特徴】[現在取り組んでいるもの]

◆表 ブロック別◆

	サンプル数	の 確認等	防 災活 動(家 具の 転倒 防止、 食料 経路 料)	差 の解 消、 家具 等の 衝突 防止 等)	自 宅で の事 故や けが の防 止活 動段	や ん だら ら18 9へ 電話 、育 児に も悩 む	思 つた ら18 9へ 電話 、身 近な 人の 活動	化 に抱 え込 まな い、 身近 な人 の活 動	自 殺予 防活 動(悩 みや 不安 はひ とと り、 こど も1 10番 の家 等)	地 域の 子育 て活 動(登 下校 の見 守り、 こど も1 10番 の家 等)	防 犯活 動(自 転車 はツ ーロ ック、 なが らパ トロ ール 等)	ら DV 防止 活動 (DV かも と思 った ら相 談す る等)	い ない 、上 記の どれ にも 取り 組ん で	無 回 答
全 体	1,275 100.0	370 29.0	353 27.7	349 27.4	186 14.6	159 12.5	124 9.7	110 8.6	105 8.2	48 3.8	342 26.8	192 15.1		
ブロック別	東部A	91 100.0	28 30.8	<b>30</b> <b>33.0</b>	24 26.4	<b>23</b> <b>25.3</b>	<b>25</b> <b>27.5</b>	9 9.9	8 8.8	7 7.7	3 3.3	18 19.8	20 22.0	
	東部B	80 100.0	19 23.8	<b>28</b> <b>35.0</b>	19 23.8	<b>19</b> <b>23.8</b>	<b>21</b> <b>26.3</b>	7 8.8	10 12.5	<b>12</b> <b>15.0</b>	2 2.5	11 13.8	18 22.5	
	北部A	113 100.0	35 31.0	30 26.5	36 31.9	17 15.0	16 14.2	13 11.5	10 8.8	6 5.3	5 4.4	31 27.4	11 9.7	
	北部B	72 100.0	15 20.8	13 18.1	15 20.8	4 5.6	5 6.9	5 6.9	8 11.1	7 9.7	3 4.2	<b>27</b> <b>37.5</b>	14 19.4	
	中央東部	140 100.0	40 28.6	39 27.9	41 29.3	12 8.6	12 8.6	11 7.9	9 6.4	14 10.0	4 2.9	35 25.0	25 17.9	
	南東部	108 100.0	32 29.6	29 26.9	24 22.2	20 18.5	8 7.4	7 6.5	<b>15</b> <b>13.9</b>	7 6.5	4 3.7	32 29.6	12 11.1	
	中央部	177 100.0	58 32.8	47 26.6	46 26.0	18 10.2	15 8.5	19 10.7	10 5.6	14 7.9	9 5.1	<b>61</b> <b>34.5</b>	17 9.6	
	中央南部	205 100.0	62 30.2	<b>68</b> <b>33.2</b>	63 30.7	27 13.2	20 9.8	25 12.2	19 9.3	20 9.8	11 5.4	54 26.3	25 12.2	
	南西部	125 100.0	38 30.4	27 21.6	37 29.6	20 16.0	19 15.2	14 11.2	8 6.4	4 3.2	3 2.4	28 22.4	17 13.6	
	西部A	55 100.0	12 21.8	11 20.0	15 27.3	10 18.2	9 16.4	4 9.1	5 5.5	3 7.3	1 1.8	15 27.3	13 23.6	
	西部B	74 100.0	20 27.0	20 27.0	17 23.0	9 12.2	4 5.4	7 9.5	6 8.1	5 6.8	2 2.7	21 28.4	14 18.9	

【属性別特徴】[今後取り組みたいもの]

◆表 ブロック別◆

	サンプル数	の 確認等	防 災活 動(家 具の 転倒 防止、 食料 経路 料)	差 の解 消、 家具 等の 衝突 防止 等)	自 宅で の事 故や けが の防 止活 動段	や ん だら ら18 9へ 電話 、育 児に も悩 む	思 つた ら18 9へ 電話 、身 近な 人の 活動	化 に抱 え込 まな い、 身近 な人 の活 動	自 殺予 防活 動(悩 みや 不安 はひ とと り、 こど も1 10番 の家 等)	地 域の 子育 て活 動(登 下校 の見 守り、 こど も1 10番 の家 等)	防 犯活 動(自 転車 はツ ーロ ック、 なが らパ トロ ール 等)	ら DV 防止 活動 (DV かも と思 った ら相 談す る等)	い ない 、上 記の どれ にも 取り 組ん だ	無 回 答
全 体	1,275 100.0	433 34.0	405 31.8	405 31.8	385 30.2	344 27.0	306 24.0	301 23.6	296 23.2	282 22.1	274 21.5	76 6.0	397 31.1	
ブロック別	東部A	91 100.0	32 35.2	<b>36</b> <b>39.6</b>	30 33.0	20 22.0	23 25.3	18 19.8	20 22.0	16 17.6	20 22.0	2 2.2	29 31.9	
	東部B	80 100.0	29 36.3	<b>31</b> <b>38.8</b>	21 26.3	18 22.5	17 21.3	16 20.0	20 25.0	15 18.8	16 20.0	4 5.0	23 28.8	
	北部A	113 100.0	35 31.0	34 30.1	36 31.9	31 27.4	26 23.0	<b>33</b> <b>29.2</b>	28 24.8	28 24.8	25 22.1	8 7.1	33 29.2	
	北部B	72 100.0	22 30.6	19 26.4	21 29.2	18 25.0	11 15.3	10 13.9	6 8.3	9 12.5	14 19.4	7 9.7	26 36.1	
	中央東部	140 100.0	54 38.6	44 31.4	44 31.4	33 23.6	36 25.7	31 22.1	30 21.4	28 20.0	32 22.9	9 6.4	40 28.6	
	南東部	108 100.0	31 28.7	37 34.3	30 30.6	33 30.6	33 25.9	28 25.9	29 26.9	29 28.7	<b>31</b> <b>28.7</b>	23 21.3	34 31.5	
	中央部	177 100.0	66 37.3	55 31.1	55 31.1	54 30.5	50 28.2	46 26.0	48 27.1	42 23.7	39 22.0	8 4.5	52 29.4	
	中央南部	205 100.0	65 31.7	60 29.3	<b>74</b> <b>36.1</b>	62 30.2	49 23.9	57 27.8	51 24.9	48 23.4	46 22.4	18 8.8	57 27.8	
	南西部	125 100.0	47 37.6	39 31.2	41 32.8	32 25.6	32 23.2	29 24.0	30 24.8	31 24.8	26 20.8	31 24.8	4 3.2	42 33.6
	西部A	55 100.0	15 27.3	13 23.6	12 21.8	9 16.4	10 18.2	6 10.9	6 10.9	6 10.9	7 12.7	3 5.5	23 41.8	
	西部B	74 100.0	25 33.8	25 33.8	21 28.4	20 27.0	20 27.0	17 23.0	17 23.0	18 24.3	10 13.5	3 4.1	24 32.4	

第44回(令和3年度)

# 久留米市民意識調査 報告書

令和4年3月

久留米市

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

変化する市民意識の動向と現在の多様な市民ニーズを科学的、統計的に把握し、今後の市の施策・事業の検討、推進、評価の基礎データとして活用することを目的としている。

## 2 調査の方法

(1) 調査地域	久留米市全域
(2) 調査対象者	久留米市に在住する満 18 歳以上の人
(3) サンプル数	5,000 人
(4) 抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
(5) 調査方法	郵送調査
(6) 調査期間	令和 3 年 7 月 27 日から令和 3 年 8 月 16 日
(7) 回収数 (%)	2,194 票 (43.9%)
(8) 調査の企画と実施	企画 久留米市協働推進部広聴・相談課 実施 株式会社名豊

## 3 調査項目

今回の調査は、1. 行政施策、2. 情報発信、3. 地域コミュニティ活動、4. セーフコミュニティ、5. 在宅医療・介護の意識、6. 新型コロナウイルス感染症の影響という 6 つのテーマについて実施した。

- 1. 行政施策** 久留米市の住みやすさ、愛着度、定住意向、市の情報発信などについて調査し、久留米市新総合計画に掲げる施策の達成状況を把握するための基礎資料として活用とする。
- 2. 情報発信** 広報紙やホームページの閲覧頻度、SNS の利用状況などについて調査し、久留米市の効果的な情報発信方法を検討するための基礎資料として活用する。
- 3. 地域コミュニティ活動** 自治会への加入状況、地域コミュニティ活動の認知度と参加意向、地域コミュニティへ期待することを調査し、地域コミュニティの活性化を図るための基礎資料として活用する。
- 4. セーフコミュニティ** 久留米市が取り組んでいるセーフコミュニティについての認知度、暮らしでの不安感、防災・防犯への取り組み、不安・悩みの状況を把握し、安全安心なまちづくりを実現するための基礎資料とする。
- 5. 在宅医療・介護の意識** ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の認知度、人生の最終段階の希望、看取りの状況について把握し、在宅医療・介護の連携の為の施策策定の基礎資料とする。
- 6. 新型コロナウイルス感染症の影響** 新型コロナウイルス感染症が流行する中での生活の変化、生活での困り事などを把握する。

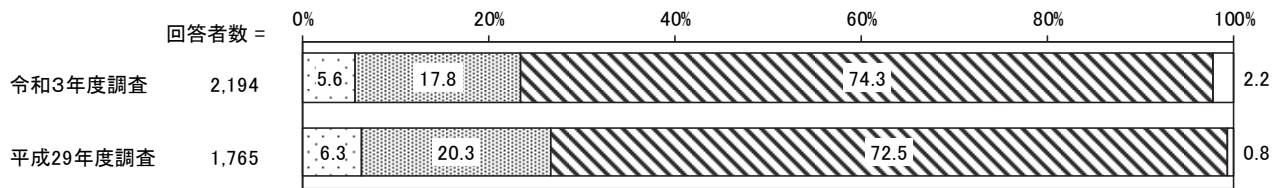
## (7) 安全安心のまちづくり「セーフコミュニティ」について

問 28 あなたは、久留米市が、セーフコミュニティ国際認証を取得して「安全安心のまちづくり」に取り組んでいることを知っていますか。  
(あてはまる番号1つだけ)

「知らない」の割合が74.3%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が17.8%となっています。

### 【経年比較】

大きな差異はみられません。



□ 取り組んでいることを知っている   ■ 聞いたことがある   ▨ 知らない   □ 無回答

### 【性別】

大きな差異はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	取り組んでいることを知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全体	2,194	5.6	17.8	74.3	2.2
男性	939	6.6	17.9	73.8	1.7
女性	1,239	4.9	17.8	74.8	2.4

【年齢別】

年齢が高くなるにつれて「聞いたことがある」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	回答者数 (件)	取り組んでいる ことを知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全体	2,194	5.6	17.8	74.3	2.2
18～29 歳	171	4.7	10.5	83.6	1.2
30 歳代	253	7.1	11.1	81.4	0.4
40 歳代	368	4.3	12.2	81.3	2.2
50 歳代	382	3.7	14.7	80.4	1.3
60～64 歳	235	6.0	22.6	69.8	1.7
65～69 歳	284	5.6	22.2	70.4	1.8
70～74 歳	293	7.5	25.9	62.1	4.4
75 歳以上	197	7.6	25.4	61.9	5.1

【ブロック別】

他に比べ、「西部 A（城島）」で「聞いたことがある」の割合が、「東部 B（田主丸）」「北部 A」で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	取り組んでいる ことを知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全体	2,194	5.6	17.8	74.3	2.2
東部 A	144	4.2	18.1	75.7	2.1
東部 B（田主丸）	131	6.1	13.7	79.4	0.8
北部 A	165	5.5	14.5	79.4	0.6
北部 B（北野）	145	4.1	24.1	67.6	4.1
中央東部	253	5.9	17.8	73.1	3.2
南東部	202	4.0	19.8	73.8	2.5
中央部	266	6.0	19.2	73.7	1.1
中央南部	345	7.2	15.9	75.9	0.9
南西部	207	6.3	15.0	75.4	3.4
西部 A（城島）	62	8.1	27.4	62.9	1.6
西部 B（三瀨）	148	5.4	17.6	75.0	2.0

【自治会加入状況別】

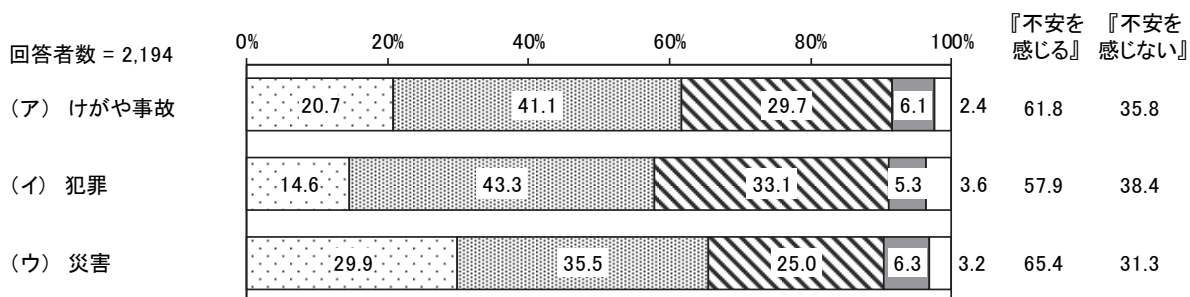
「加入している」で「聞いたことがある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	取り組んでいる ことを知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全体	2,194	5.6	17.8	74.3	2.2
加入している	1,629	6.6	19.8	71.9	1.8
加入していない	360	3.6	12.5	81.4	2.5
わからない	192	1.0	12.5	84.4	2.1

問 29-1 あなたは、お住まいの地域で、けがや事故、犯罪、災害にあうかもしれない不安を感じていますか。(あてはまる番号それぞれ1つずつ)

すべての項目で「不安を感じる」と「やや不安を感じる」を合わせた『不安を感じる』の割合が高くなっています。また、3項目で比べると、《(イ) 犯罪》で「あまり不安を感じない」と「不安を感じない」を合わせた『不安を感じない』の割合が高くなっています。

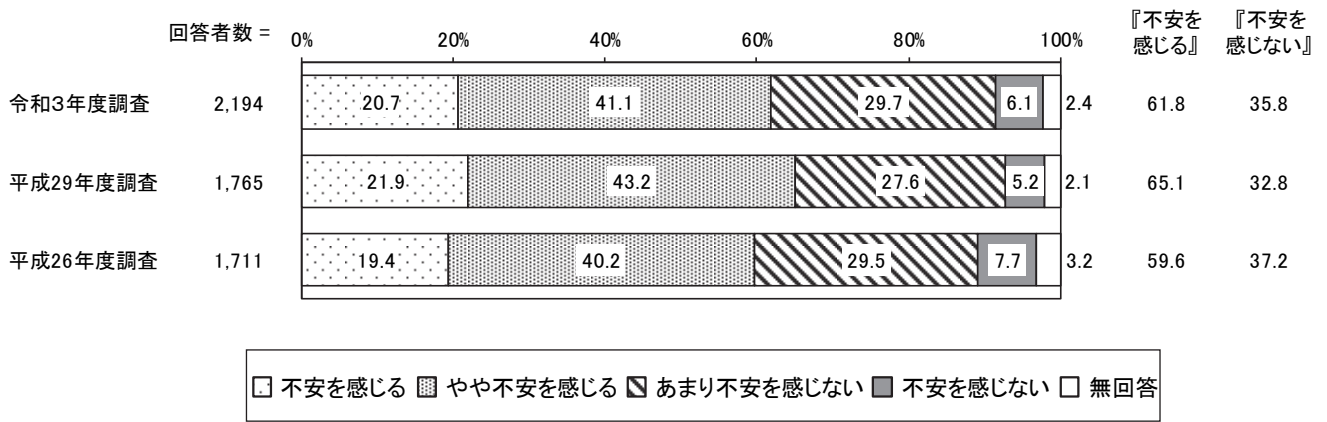


□ 不安を感じる ■ やや不安を感じる ▨ あまり不安を感じない ■ 不安を感じない □ 無回答

(ア) けがや事故

【経年比較】

大きな差異はみられません。



【性別】

大きな差異はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じない	不安を感じない	無回答	『不安を感じる』	『不安を感じない』
全体	2,194	20.7	41.1	29.7	6.1	2.4	61.8	35.8
男性	939	20.7	39.4	30.1	7.9	1.9	60.1	38.0
女性	1,239	21.0	42.5	29.3	4.8	2.5	63.5	34.1



【ブロック別】

他に比べ、「北部 A」で『不安を感じる』の割合が、「南東部」で『不安を感じない』の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じない	不安を感じない	無回答	『不安を感じる』	『不安を感じない』
全体	2,194	20.7	41.1	29.7	6.1	2.4	61.8	35.8
東部 A	144	24.3	39.6	27.1	6.9	2.1	63.9	34.0
東部 B (田主丸)	131	19.8	35.9	29.8	7.6	6.9	55.7	37.4
北部 A	165	23.6	41.8	24.8	8.5	1.2	65.4	33.3
北部 B (北野)	145	16.6	37.9	32.4	6.9	6.2	54.5	39.3
中央東部	253	22.1	41.9	28.5	4.7	2.8	64.0	33.2
南東部	202	16.8	40.6	34.2	7.9	0.5	57.4	42.1
中央部	266	18.8	44.4	31.2	4.9	0.8	63.2	36.1
中央南部	345	24.1	38.6	31.0	5.2	1.2	62.7	36.2
南西部	207	22.2	41.1	28.0	5.8	2.9	63.3	33.8
西部 A (城島)	62	27.4	37.1	32.3	3.2	—	64.5	35.5
西部 B (三瀨)	148	19.6	45.3	29.1	4.7	1.4	64.9	33.8

【同居家族別】

他に比べ、「世帯の中に小学生がいる」で『不安を感じる』の割合が、「世帯に上記にあてはまる人はいない」で『不安を感じない』の割合が高くなっています。

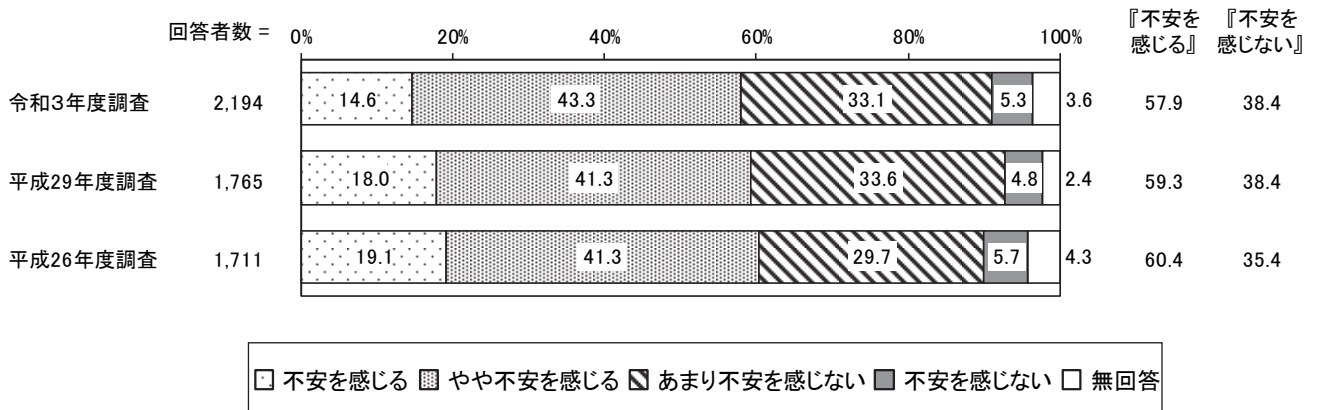
単位：％

区分	回答者数(件)	不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じない	『不安を感じない』	無回答	『不安を感じる』	『不安を感じない』
全体	2,194	20.7	41.1	29.7	6.1	2.4	61.8	35.8
世帯の中に就学前の子どもがいる	263	30.0	41.1	21.7	5.3	1.9	71.1	27.0
世帯の中に小学生がいる	261	27.6	44.4	23.4	3.4	1.1	72.0	26.8
世帯の中に中学生がいる	165	26.7	40.0	27.3	6.1	—	66.7	33.4
世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	173	24.9	41.0	26.6	6.4	1.2	65.9	33.0
世帯の中に65歳以上の人がいる	881	18.8	42.6	30.0	5.8	2.8	61.4	35.8
世帯の中に障害者手帳を持っている人がある(本人を含みます)	239	24.3	40.6	26.4	5.0	3.8	64.9	31.4
世帯に上記にあてはまる人はいない	686	17.9	38.6	33.8	7.3	2.3	56.5	41.1

(イ) 犯罪

【経年比較】

大きな差異はみられません。



【性別】

男性に比べ、女性で『不安を感じる』の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じ ない	不安を感じない	無回答	『不安を感じる』	『不安を感じない』
全体	2,194	14.6	43.3	33.1	5.3	3.6	57.9	38.4
男性	939	13.3	42.2	33.5	7.5	3.5	55.5	41.0
女性	1,239	15.7	44.6	32.8	3.6	3.2	60.3	36.4

【ブロック別】

他に比べ、「中央東部」「中央南部」「西部 B（三瀨）」で『不安を感じる』の割合が、「北部 B（北野）」で『不安を感じない』の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じ ない	不安を感じない	無回答	『不安を感じる』	『不安を感じない』
全体	2,194	14.6	43.3	33.1	5.3	3.6	57.9	38.4
東部 A	144	18.1	35.4	39.6	4.2	2.8	53.5	43.8
東部 B（田主丸）	131	11.5	35.9	38.2	6.1	8.4	47.4	44.3
北部 A	165	15.8	44.8	29.7	8.5	1.2	60.6	38.2
北部 B（北野）	145	9.0	38.6	38.6	8.3	5.5	47.6	46.9
中央東部	253	14.6	47.8	28.5	4.7	4.3	62.4	33.2
南東部	202	12.9	46.0	34.2	4.0	3.0	58.9	38.2
中央部	266	16.9	42.1	34.2	4.9	1.9	59.0	39.1
中央南部	345	18.6	44.3	29.6	6.1	1.4	62.9	35.7
南西部	207	11.1	46.9	32.9	4.3	4.8	58.0	37.2
西部 A（城島）	62	9.7	43.5	43.5	—	3.2	53.2	43.5
西部 B（三瀨）	148	15.5	46.6	32.4	3.4	2.0	62.1	35.8

## 【同居家族別】

他に比べ、「世帯の中に小学生がいる」で『不安を感じる』の割合が、「世帯に上記にあてはまる人はいない」で『不安を感じない』の割合が高くなっています。

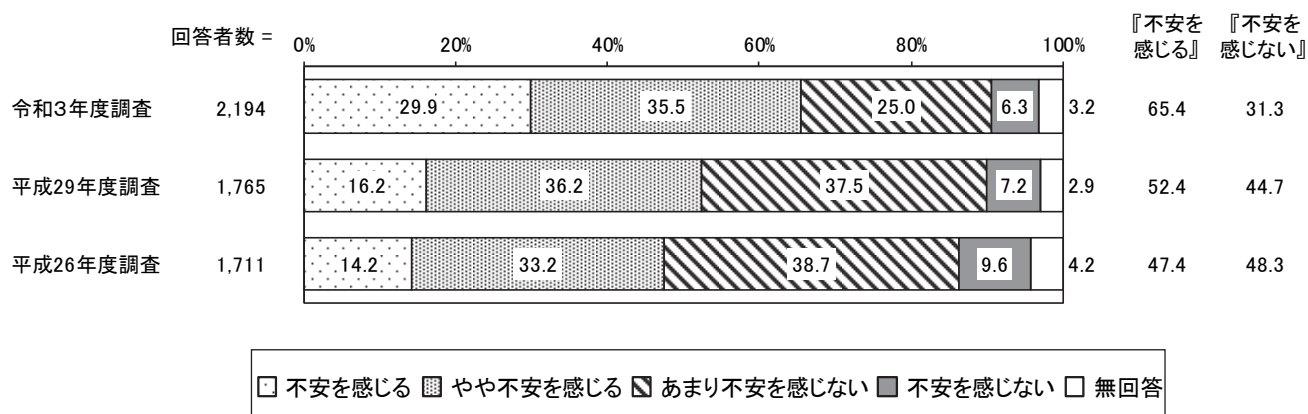
単位：％

区分	回答者数(件)	不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じない	不安を感じない	無回答	『不安を感じる』	『不安を感じない』
全体	2,194	14.6	43.3	33.1	5.3	3.6	57.9	38.4
世帯の中に就学前の子どもがいる	263	20.2	41.4	31.9	4.6	1.9	61.6	36.5
世帯の中に小学生がいる	261	16.1	51.3	28.7	3.1	0.8	67.4	31.8
世帯の中に中学生がいる	165	19.4	40.6	31.5	7.3	1.2	60.0	38.8
世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	173	16.8	41.6	30.6	7.5	3.5	58.4	38.1
世帯の中に65歳以上の人がいる	881	13.7	43.5	33.9	4.5	4.3	57.2	38.4
世帯の中に障害者手帳を持っている人がある(本人を含みます)	239	15.9	45.6	31.0	3.8	3.8	61.5	34.8
世帯に上記にあてはまる人はいない	686	14.0	42.1	34.8	6.3	2.8	56.1	41.1

## (ウ) 災害

### 【経年比較】

『不安を感じる』の割合が増加しています。



【性別】

「男性」に比べ、「女性」で『不安を感じる』の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じ ない	不安を感じない	無回答	『不安を感じる』	『不安を感じない』
全体	2,194	29.9	35.5	25.0	6.3	3.2	65.4	31.3
男性	939	28.9	33.0	27.3	7.7	3.2	61.9	35.0
女性	1,239	31.0	37.6	23.2	5.4	2.7	68.6	28.6

【ブロック別】

他に比べ、「東部A」「北部A」で『不安を感じる』の割合が、「中央南部」で『不安を感じない』の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じ ない	不安を感じない	無回答	『不安を感じる』	『不安を感じない』
全体	2,194	29.9	35.5	25.0	6.3	3.2	65.4	31.3
東部A	144	43.1	36.8	14.6	3.5	2.1	79.9	18.1
東部B(田主丸)	131	35.9	41.2	14.5	3.8	4.6	77.1	18.3
北部A	165	43.6	37.6	12.1	4.8	1.8	81.2	16.9
北部B(北野)	145	43.4	35.9	14.5	1.4	4.8	79.3	15.9
中央東部	253	21.7	35.2	29.2	9.5	4.3	56.9	38.7
南東部	202	19.3	39.6	32.7	5.9	2.5	58.9	38.6
中央部	266	33.5	32.0	27.1	5.6	1.9	65.5	32.7
中央南部	345	25.8	30.7	31.0	10.4	2.0	56.5	41.4
南西部	207	26.1	36.2	27.1	6.3	4.3	62.3	33.4
西部A(城島)	62	40.3	35.5	19.4	1.6	3.2	75.8	21.0
西部B(三瀨)	148	24.3	40.5	29.1	4.7	1.4	64.8	33.8

【同居家族別】

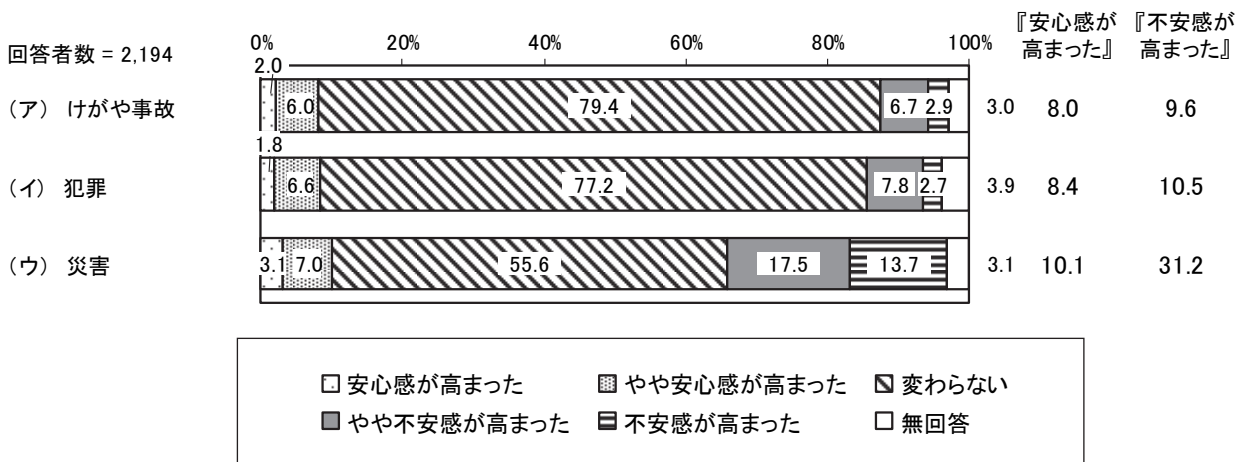
他に比べ、「世帯の中に就学前の子どもがいる」で『不安を感じる』の割合が、「世帯の中に65歳以上の人がいる」「世帯に上記にあてはまる人はいない」で『不安を感じない』の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じない	不安を感じない	無回答	『不安を感じる』	『不安を感じない』
全体	2,194	29.9	35.5	25.0	6.3	3.2	65.4	31.3
世帯の中に就学前の子どもがいる	263	42.2	35.7	16.7	3.8	1.5	77.9	20.5
世帯の中に小学生がいる	261	33.0	42.5	19.9	3.8	0.8	75.5	23.7
世帯の中に中学生がいる	165	35.8	38.8	19.4	4.8	1.2	74.6	24.2
世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	173	31.8	39.3	17.3	9.2	2.3	71.1	26.5
世帯の中に65歳以上の人がいる	881	27.5	35.6	27.1	5.8	4.0	63.1	32.9
世帯の中に障害者手帳を持っている人がある(本人を含みます)	239	31.0	34.7	25.5	5.0	3.8	65.7	30.5
世帯に上記にあてはまる人はいない	686	29.0	35.6	25.9	7.1	2.3	64.6	33.0

問 29-2 この3年くらいの間で不安感は変化しましたか。  
(あてはまる番号それぞれ1つずつ)

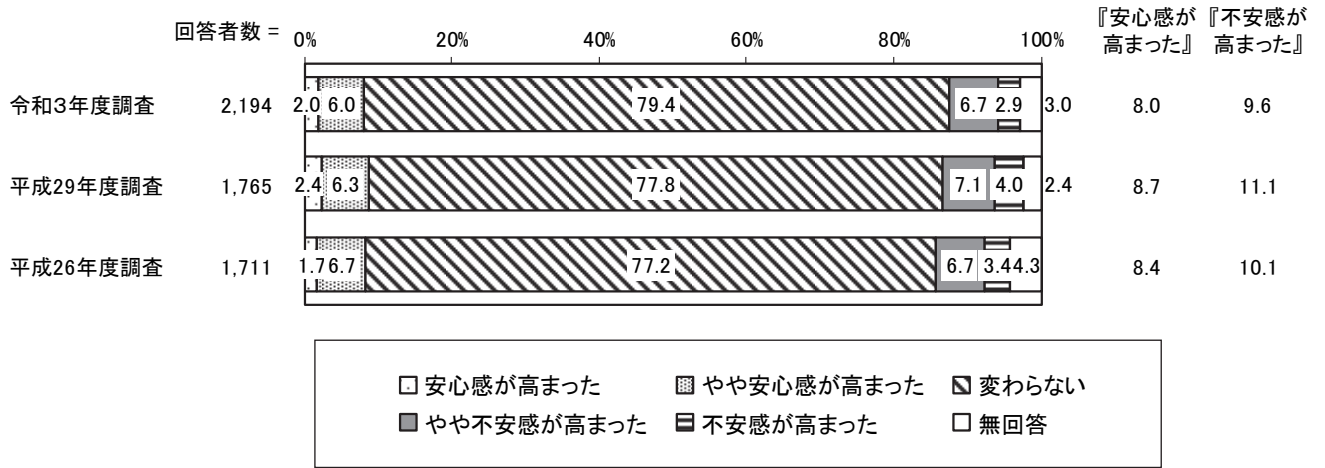
すべての項目で「変わらない」の割合が高く、特に《(ア) けがや事故》《(イ) 犯罪》の割合は7割半ばを超えています。また、3つの項目で比べると、《(ウ) 災害》で「やや不安感が高まった」と「不安感が高まった」を合わせた『不安感が高まった』の割合が高くなっています。



(ア) けがや事故

【経年比較】

大きな差異はみられません。



【性別】

大きな差異はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	安心感が高まった	やや安心感が高まった	変わらない	やや不安感が高まった	不安感が高まった	無回答	『安心感が高まった』	『不安感が高まった』
全体	2,194	2.0	6.0	79.4	6.7	2.9	3.0	8.0	9.6
男性	939	2.3	5.6	80.0	6.8	3.0	2.2	7.9	9.8
女性	1,239	1.7	6.4	79.1	6.8	2.9	3.1	8.1	9.7

【ブロック別】

他に比べ、「南東部」で『安心感が高まった』の割合が、「西部A（城島）」で「変わらない」の割合が高くなっています。また、他に比べ、「北部A」で『不安感が高まった』の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	安心感が高まった	やや安心感が高まった	変わらない	やや不安感が高まった	不安感が高まった	無回答	『安心感が高まった』	『不安感が高まった』
全体	2,194	2.0	6.0	79.4	6.7	2.9	3.0	8.0	9.6
東部A	144	1.4	3.5	77.8	11.8	2.8	2.8	4.9	14.6
東部B（田主丸）	131	2.3	3.8	78.6	6.9	2.3	6.1	6.1	9.2
北部A	165	1.2	2.4	78.8	10.9	5.5	1.2	3.6	16.4
北部B（北野）	145	2.1	4.1	81.4	4.8	1.4	6.2	6.2	6.2
中央東部	253	2.0	5.1	80.2	6.7	1.6	4.3	7.1	8.3
南東部	202	2.5	11.9	79.2	4.0	2.0	0.5	14.4	6.0
中央部	266	3.0	4.5	82.3	6.4	3.0	0.8	7.5	9.4
中央南部	345	2.0	7.2	79.1	5.8	4.6	1.2	9.2	10.4
南西部	207	2.4	6.3	77.3	6.8	3.4	3.9	8.7	10.2
西部A（城島）	62	—	6.5	85.5	3.2	1.6	3.2	6.5	4.8
西部B（三瀨）	148	2.0	7.4	79.7	6.8	2.0	2.0	9.4	8.8



## 【同居家族別】

他に比べ、「世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる（本人を含みます）」で『安心感が高まった』の割合が、「世帯の中に中学生がいる」で「変わらない」の割合が高くなっています。また、他に比べ、「世帯の中に就学前の子どもがいる」で『不安感が高まった』の割合が高くなっています。

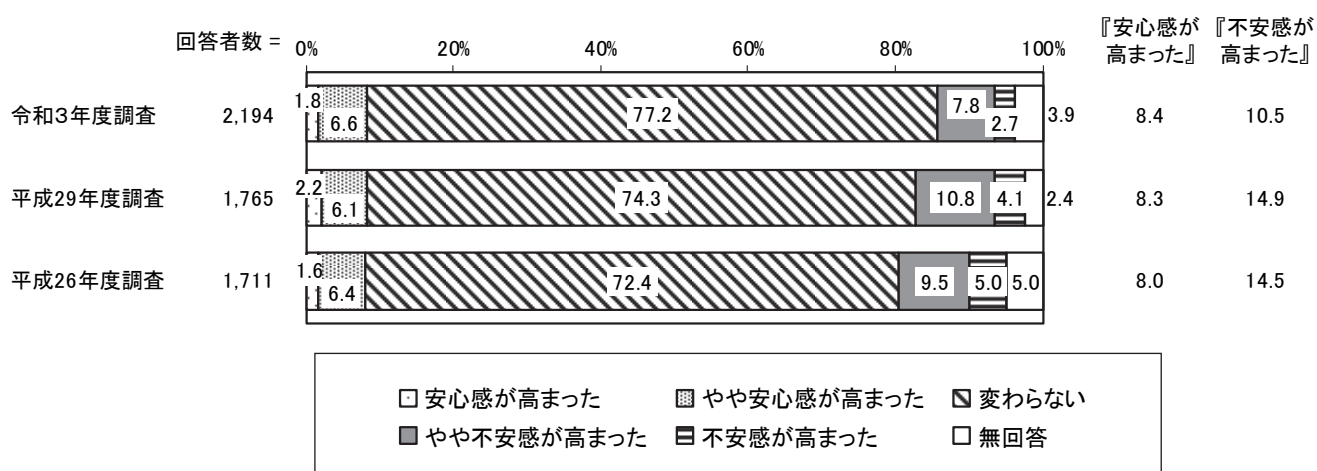
単位：％

区分	回答者数 (件)	安心感が高まった	やや安心感が高まった	変わらない	やや不安感が高まった	不安感が高まった	無回答	『安心感が高まった』	『不安感が高まった』
全体	2,194	2.0	6.0	79.4	6.7	2.9	3.0	8.0	9.6
世帯の中に就学前の子どもがいる	263	1.5	5.7	77.9	8.0	4.6	2.3	7.2	12.6
世帯の中に小学生がいる	261	1.9	6.1	78.9	7.7	3.8	1.5	8.0	11.5
世帯の中に中学生がいる	165	2.4	6.1	83.6	5.5	1.8	0.6	8.5	7.3
世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	173	1.2	8.7	80.3	5.2	2.9	1.7	9.9	8.1
世帯の中に65歳以上の人がある	881	1.5	7.3	77.5	7.7	2.3	3.7	8.8	10.0
世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる(本人を含みます)	239	3.3	7.9	76.2	5.0	4.2	3.3	11.2	9.2
世帯に上記にあてはまる人はいない	686	2.6	4.4	80.9	6.3	3.2	2.6	7.0	9.5

## (イ) 犯罪

### 【経年比較】

大きな差異はみられません。



【性別】

大きな差異はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	安心感が 高まった	やや安心感が 高まった	変わらない	やや不安感が 高まった	不安感が 高まった	無回答	『安心感が 高まった』	『不安感が 高まった』
全体	2,194	1.8	6.6	77.2	7.8	2.7	3.9	8.4	10.5
男性	939	1.8	6.7	78.1	7.7	2.2	3.5	8.5	9.9
女性	1,239	1.7	6.5	77.0	8.1	3.1	3.6	8.2	11.2

【ブロック別】

他に比べ、「南東部」「中央南部」で『安心感が高まった』の割合が、「中央部」で「変わらない」の割合が高くなっています。また、他に比べ、「北部A」で『不安感が高まった』の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	安心感が 高まった	やや安心感が 高まった	変わらない	やや不安感が 高まった	不安感が 高まった	無回答	『安心感が 高まった』	『不安感が 高まった』
全体	2,194	1.8	6.6	77.2	7.8	2.7	3.9	8.4	10.5
東部A	144	1.4	4.2	77.8	9.7	2.8	4.2	5.6	12.5
東部B(田主丸)	131	1.5	6.9	77.1	4.6	1.5	8.4	8.4	6.1
北部A	165	0.6	4.8	79.4	7.3	6.7	1.2	5.4	14.0
北部B(北野)	145	2.1	6.9	77.2	7.6	0.7	5.5	9.0	8.3
中央東部	253	2.0	4.3	77.1	9.5	1.6	5.5	6.3	11.1
南東部	202	1.0	10.4	78.7	5.9	1.5	2.5	11.4	7.4
中央部	266	2.6	4.9	80.8	7.1	2.6	1.9	7.5	9.7
中央南部	345	2.0	9.3	75.1	9.3	3.5	0.9	11.3	12.8
南西部	207	2.4	5.8	75.8	6.3	3.4	6.3	8.2	9.7
西部A(城島)	62	—	6.5	79.0	8.1	1.6	4.8	6.5	9.7
西部B(三瀨)	148	1.4	6.8	78.4	7.4	4.1	2.0	8.2	11.5

【同居家族別】

他に比べ、「世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる（本人を含みます）」で『安心感が高まった』の割合が、「世帯の中に就学前の子どもがいる」「世帯に上記にあてはまる人はいない」で「変わらない」の割合が高くなっています。また、他に比べ、「世帯の中に中学生がいる」で『不安感が高まった』の割合が高くなっています。

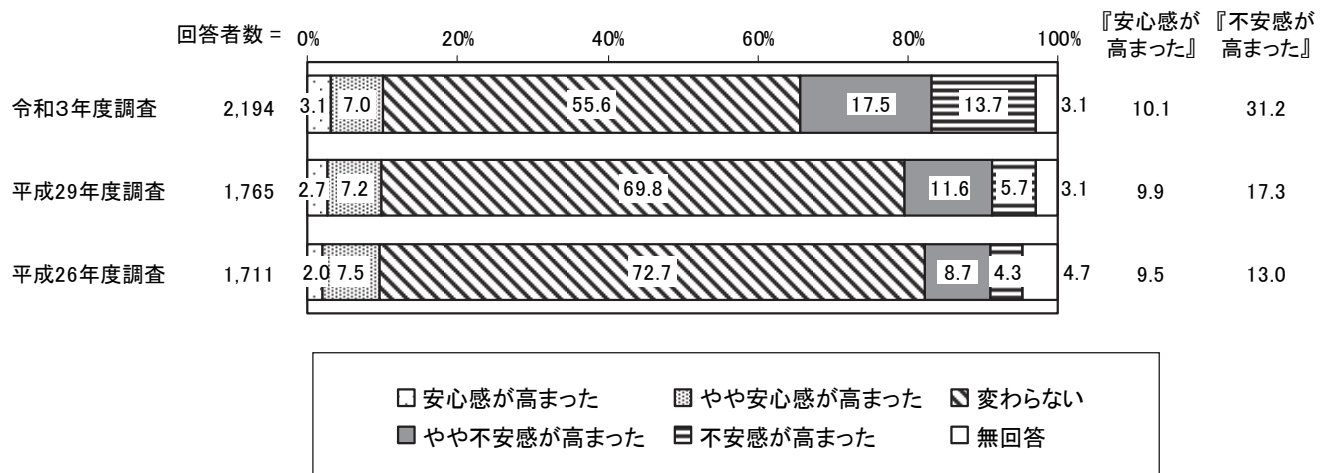
単位：％

区分	回答者数(件)	安心感が高まった	やや安心感が高まった	変わらない	やや不安感が高まった	不安感が高まった	無回答	『安心感が高まった』	『不安感が高まった』
全体	2,194	1.8	6.6	77.2	7.8	2.7	3.9	8.4	10.5
世帯の中に就学前の子どもがいる	263	1.5	4.6	79.8	7.2	4.9	1.9	6.1	12.1
世帯の中に小学生がいる	261	1.1	8.4	77.4	9.6	2.3	1.1	9.5	11.9
世帯の中に中学生がいる	165	2.4	3.0	78.8	9.1	4.8	1.8	5.4	13.9
世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	173	1.2	6.9	76.3	8.1	3.5	4.0	8.1	11.6
世帯の中に65歳以上の人がある	881	1.6	7.8	76.2	7.9	1.9	4.5	9.4	9.8
世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる(本人を含みます)	239	2.5	8.8	73.2	8.4	3.3	3.8	11.3	11.7
世帯に上記にあてはまる人はいない	686	2.3	5.4	79.2	7.0	3.1	3.1	7.7	10.1

(ウ) 災害

【経年比較】

『不安感が高まった』の割合が増加しています。



### 【性別】

「女性」に比べ、「男性」で「変わらない」の割合が高くなっています。一方、「男性」に比べ、「女性」で『不安感が高まった』の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	安心感が高まった	やや安心感が高まった	変わらない	やや不安感が高まった	不安感が高まった	無回答	『安心感が高まった』	『不安感が高まった』
全体	2,194	3.1	7.0	55.6	17.5	13.7	3.1	10.1	31.2
男性	939	3.5	6.9	59.0	14.9	12.7	3.0	10.4	27.6
女性	1,239	2.7	7.1	53.2	19.5	14.7	2.7	9.8	34.2

### 【ブロック別】

他に比べ、「南東部」で『安心感が高まった』の割合が、「西部B（三瀧）」で「変わらない」の割合が高くなっています。また、他に比べ、「北部B（北野）」で『不安感が高まった』の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	安心感が高まった	やや安心感が高まった	変わらない	やや不安感が高まった	不安感が高まった	無回答	『安心感が高まった』	『不安感が高まった』
全体	2,194	3.1	7.0	55.6	17.5	13.7	3.1	10.1	31.2
東部 A	144	3.5	5.6	45.8	20.1	22.2	2.8	9.1	42.3
東部 B（田主丸）	131	2.3	6.1	52.7	16.8	18.3	3.8	8.4	35.1
北部 A	165	2.4	5.5	44.8	24.2	21.8	1.2	7.9	46.0
北部 B（北野）	145	6.2	3.4	36.6	29.7	20.0	4.1	9.6	49.7
中央東部	253	1.6	5.1	60.1	18.2	10.3	4.7	6.7	28.5
南東部	202	2.5	10.4	60.9	15.8	7.9	2.5	12.9	23.7
中央部	266	3.4	6.8	57.5	16.5	13.9	1.9	10.2	30.4
中央南部	345	3.8	8.7	62.6	13.0	10.7	1.2	12.5	23.7
南西部	207	2.9	6.3	57.0	18.8	9.7	5.3	9.2	28.5
西部 A（城島）	62	4.8	4.8	45.2	21.0	22.6	1.6	9.6	43.6
西部 B（三瀧）	148	2.0	8.8	64.2	11.5	12.2	1.4	10.8	23.7

## 【同居家族別】

他に比べ、「世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる（本人を含みます）」で『安心感が高まった』の割合が、「世帯に上記にあてはまる人はいない」で「変わらない」の割合が高くなっています。また、他に比べ、「世帯の中に中学生がいる」で『不安感が高まった』の割合が高くなっています。

単位：％

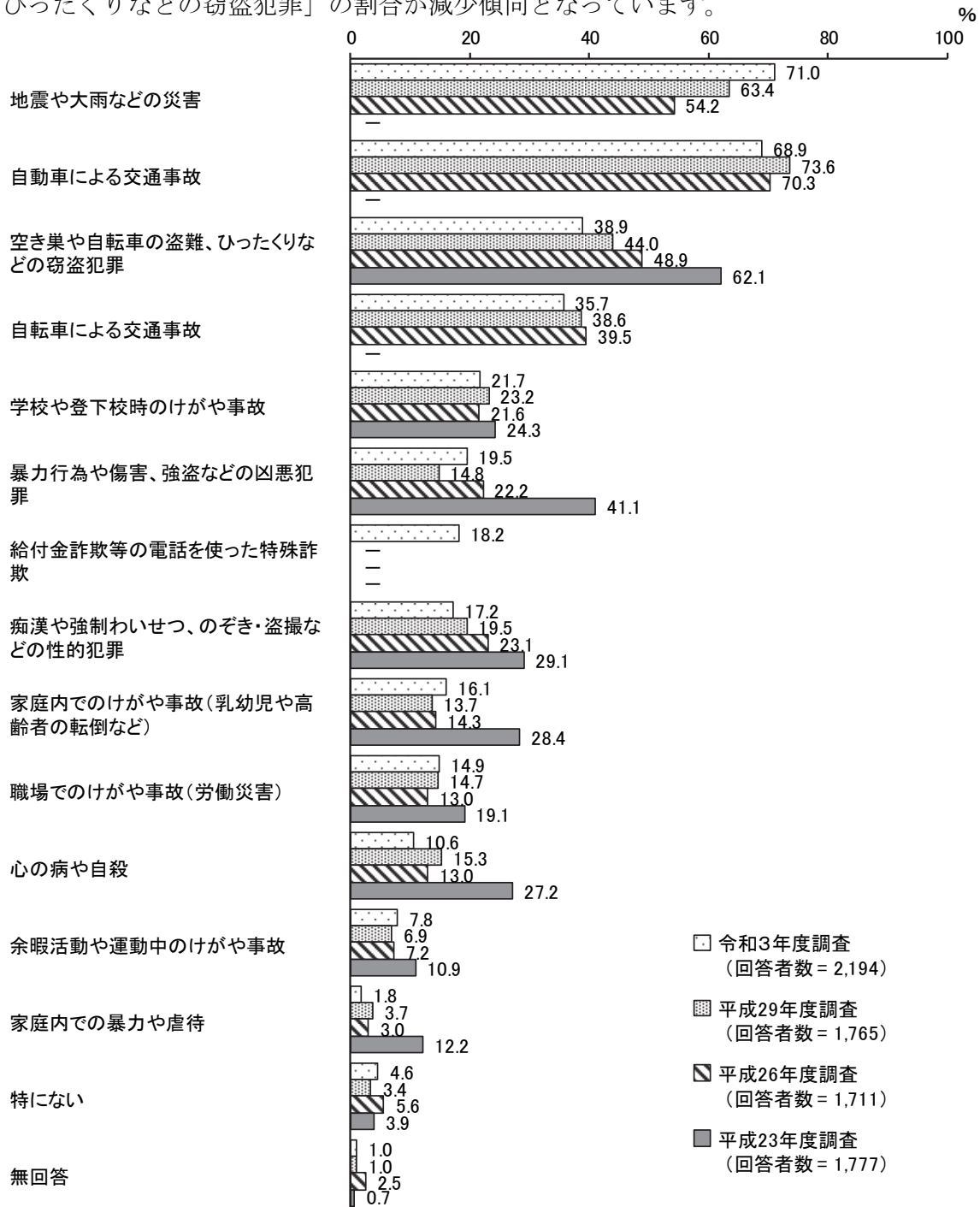
区分	回答者数 (件)	安心感が高まった	やや安心感が高まった	変わらない	やや不安感が高まった	不安感が高まった	無回答	『安心感が高まった』	『不安感が高まった』
全体	2,194	3.1	7.0	55.6	17.5	13.7	3.1	10.1	31.2
世帯の中に就学前の子どもがいる	263	3.4	5.7	50.6	20.2	18.3	1.9	9.1	38.5
世帯の中に小学生がいる	261	1.5	7.3	53.6	21.5	14.6	1.5	8.8	36.1
世帯の中に中学生がいる	165	3.0	6.1	48.5	21.8	18.8	1.8	9.1	40.6
世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	173	1.2	8.7	56.6	15.0	15.0	3.5	9.9	30.0
世帯の中に65歳以上の人がある	881	2.4	7.8	54.8	18.0	13.3	3.6	10.2	31.3
世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる(本人を含みます)	239	4.6	7.5	54.8	13.8	15.5	3.8	12.1	29.3
世帯に上記にあてはまる人はいない	686	3.6	5.8	58.7	16.3	13.3	2.2	9.4	29.6

問 30-1 あなたやあなたのご家族がだん生活する中で、不安に感じることは何ですか。(あてはまる番号いくつでも)

「地震や大雨などの災害」の割合が71.0%と最も高く、次いで「自動車による交通事故」の割合が68.9%、「空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪」の割合が38.9%となっています。

【経年比較】

「地震や大雨などの災害」の割合が増加傾向となっています。一方、「空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪」の割合が減少傾向となっています。



※平成 29 年度調査、平成 26 年度調査では「給付金詐欺等の電話を使った特殊詐欺」の選択肢はありませんでした。

※平成 23 年度調査では「地震や大雨などの災害」「自動車による交通事故」「自転車による交通事故」「給付金詐欺等の電話を使った特殊詐欺」の選択肢はありませんでした。

【性別】

「男性」に比べ、「女性」で「自動車による交通事故」「痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪」「家庭内でのけがや事故（乳幼児や高齢者の転倒など）」「地震や大雨などの災害」の割合が高くなっています。一方、「女性」に比べ、「男性」で「暴力行為や傷害、強盗などの凶悪犯罪」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	自転車による交通事故	自動車による交通事故	暴力行為や傷害、強盗などの凶悪犯罪	空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪	給付金詐欺等の電話を使った特殊詐欺	痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪	職場でのけがや事故（労働災害）	事故	余暇活動や運動中のけがや事故	学校や登下校時のけがや事故	家庭内でのけがや事故（乳幼児や高齢者の転倒など）	家庭内での暴力や虐待	心の病や自殺	地震や大雨などの災害	特になし	無回答
全体	2,194	35.7	68.9	19.5	38.9	18.2	17.2	14.9	7.8	21.7	16.1	1.8	10.6	71.0	4.6	1.0	
男性	939	34.9	66.5	22.2	38.1	19.0	13.2	15.8	7.6	20.8	13.3	2.1	12.6	67.7	5.4	1.0	
女性	1,239	36.4	71.0	17.6	39.7	17.7	20.4	14.2	8.1	22.4	18.4	1.5	9.1	73.9	4.0	0.7	

【年齢別】

他に比べ、「40歳代」で「自転車による交通事故」「痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪」「学校や登下校時のけがや事故」「地震や大雨などの災害」の割合が、「30歳代」で「自動車による交通事故」「余暇活動や運動中のけがや事故」の割合が高くなっています。また、「18～29歳」で「職場でのけがや事故（労働災害）」「地震や大雨などの災害」の割合が、「50歳代」で「自動車による交通事故」「空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪」「地震や大雨などの災害」の割合が、「65～69歳」で「給付金詐欺等の電話を使った特殊詐欺」の割合が、「75歳以上」で「家庭内でのけがや事故（乳幼児や高齢者の転倒など）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	自転車による交通事故	自動車による交通事故	暴力行為や傷害、強盗などの凶悪犯罪	空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪	給付金詐欺等の電話を使った特殊詐欺	痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪	職場でのけがや事故（労働災害）	余暇活動や運動中のけがや事故	学校や登下校時のけがや事故	幼児や高齢者の転倒など	家庭内でのけがや事故（乳幼児や高齢者の転倒など）	家庭内での暴力や虐待	心の病や自殺	地震や大雨などの災害	特になし	無回答
全体	2,194	35.7	68.9	19.5	38.9	18.2	17.2	14.9	7.8	21.7	16.1	1.8	10.6	71.0	4.6	1.0	
18～29歳	171	30.4	67.3	22.2	32.7	11.7	23.4	20.5	8.2	18.1	9.4	2.9	13.5	76.6	6.4	0.6	
30歳代	253	40.7	71.9	23.7	37.9	14.2	23.3	19.8	12.3	38.3	15.0	2.8	14.2	71.9	3.6	0.4	
40歳代	368	51.4	67.9	22.8	41.3	13.6	25.5	15.2	8.7	42.7	11.7	2.7	14.7	76.6	3.0	0.8	
50歳代	382	35.1	72.8	21.2	44.2	19.4	23.0	17.8	6.8	19.1	10.5	1.3	14.9	76.2	3.1	0.5	
60～64歳	235	28.9	68.5	18.7	40.9	17.4	17.0	16.2	6.4	11.9	17.4	1.7	8.9	70.2	4.3	0.9	
65～69歳	284	28.2	68.3	16.5	40.5	24.3	7.7	13.0	5.6	11.3	19.0	1.8	6.3	66.9	4.9	0.4	
70～74歳	293	30.7	64.5	13.3	38.9	20.8	7.2	9.6	9.2	12.3	21.8	1.0	4.8	64.5	6.8	2.0	
75歳以上	197	33.5	69.5	17.3	26.9	23.9	7.1	6.6	5.1	10.2	28.9	—	4.1	62.9	6.6	2.0	



【同居家族別】

他に比べ、「世帯の中に中学生がいる」で「自転車による交通事故」「痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪」「余暇活動や運動中のけがや事故」「地震や大雨などの災害」の割合が、「世帯の中に就学前の子どもがいる」で「自動車による交通事故」「暴力行為や傷害、強盗などの凶悪犯罪」「空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪」「地震や大雨などの災害」の割合が高くなっています。また、「世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる」で「空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪」の割合が、「世帯の中に65歳以上の人がいる」で「給付金詐欺等の電話を使った特殊詐欺」の割合が、「世帯の中に小学生がいる」で「学校や登下校時のけがや事故」の割合が、「世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる（本人を含みます）」で「家庭内でのけがや事故（乳幼児や高齢者の転倒など）」「心の病や自殺」の割合が高くなっています。

単位：%

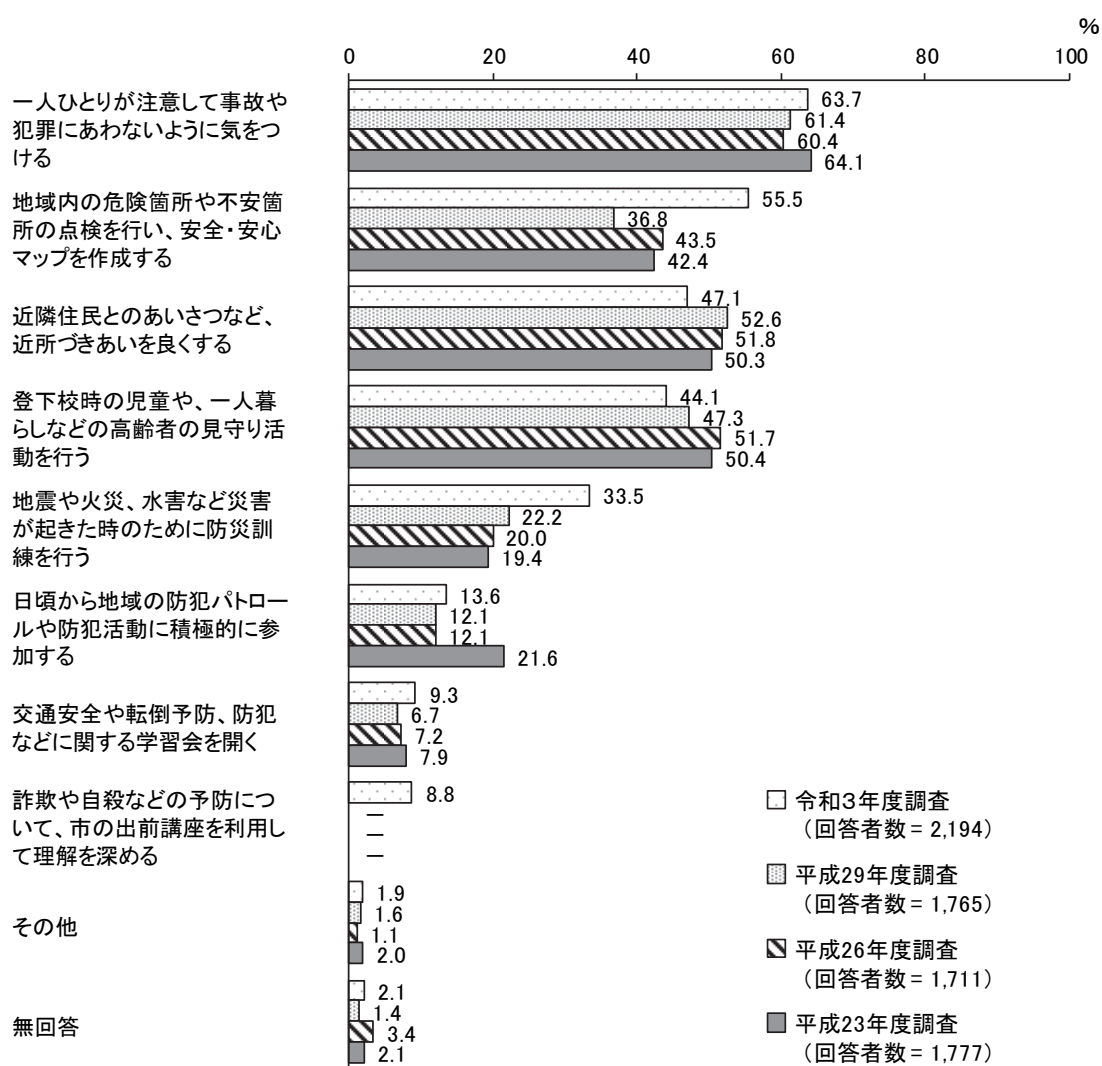
区分	回答者数（件）	自転車による交通事故	自動車による交通事故	暴力行為や傷害、強盗などの凶悪犯罪	空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪	給付金詐欺等の電話を使った特殊詐欺	痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪	職場でのけがや事故（労働災害）	余暇活動や運動中のけがや事故	学校や登下校時のけがや事故	家庭内でのけがや事故（乳幼児や高齢者の転倒など）	家庭内での暴力や虐待	心の病や自殺	地震や大雨などの災害	特になし	無回答
全体	2,194	35.7	68.9	19.5	38.9	18.2	17.2	14.9	7.8	21.7	16.1	1.8	10.6	71.0	4.6	1.0
世帯の中に就学前の子どもがいる	263	42.6	75.7	24.7	41.1	12.9	23.6	18.6	11.8	54.0	20.5	2.7	10.3	74.5	3.4	0.8
世帯の中に小学生がいる	261	64.4	73.9	21.5	38.3	8.4	31.0	16.5	12.3	77.0	8.8	1.9	12.3	72.0	3.1	0.4
世帯の中に中学生がいる	165	70.3	70.3	18.2	40.6	9.7	34.5	18.2	16.4	70.3	9.1	2.4	13.3	74.5	1.8	—
世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	173	60.7	71.1	20.8	41.0	13.3	29.5	17.3	10.4	46.8	9.2	2.9	13.9	70.5	3.5	0.6
世帯の中に65歳以上の人がいる	881	31.7	71.7	18.0	39.4	27.4	12.7	14.2	9.0	14.1	23.2	2.2	8.7	70.0	4.9	1.0
世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる（本人を含みます）	239	32.2	64.4	20.1	37.2	22.2	15.9	14.6	10.9	16.7	25.9	2.5	16.3	69.0	6.7	1.3
世帯に上記にあてはまる人はいない	686	28.3	65.5	20.4	37.9	13.3	16.8	17.1	5.7	8.5	10.1	1.6	11.2	73.9	5.0	0.3

**問 30-2 あなたは、けがや事故、犯罪などを防いだり、災害への備えとして、個人や地域で特にどのような取り組みや対策を行うことが必要だと思いますか。  
(あてはまる番号いくつでも)**

「一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける」の割合が 63.7%と最も高く、次いで「地域内の危険箇所や不安箇所の点検を行い、安全・安心マップを作成する」の割合が 55.5%、「近隣住民とのあいさつなど、近所づきあいを良くする」の割合が 47.1%となっています。

**【経年比較】**

「地域内の危険箇所や不安箇所の点検を行い、安全・安心マップを作製する」「地震や火災、水害などの災害が起きた時のために防災訓練を行う」の割合が増加しています。



※平成 29 年度以前の調査には「詐欺や自殺などの予防について、市の出前講座を利用して理解を深める」の選択肢はありませんでした。

【性別】

「男性」に比べ、「女性」で「登下校時の児童や、一人暮らしなどの高齢者の見守り活動を行う」「近隣住民とのあいさつなど、近所づきあいを良くする」「一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける」の割合が高くなっています。一方、「女性」に比べ、「男性」で「日頃から地域の防犯パトロールや防犯活動に積極的に参加する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	地域内の危険箇所や不安箇所の点検を行い、安全・安心マップを作成する	登下校時の児童や、一人暮らしなど の高齢者の見守り活動を行う	近隣住民とのあいさつなど、近所づきあいを良くする	日頃から地域の防犯パトロールや防犯活動に積極的に参加する	交通安全や転倒予防、防犯などに関する学習会を開く	詐欺や自殺などの予防について、市の出前講座を利用して理解を深める	地震や火災、水害など災害が起きた時のために防災訓練を行う	一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける	その他	無回答
全体	2,194	55.5	44.1	47.1	13.6	9.3	8.8	33.5	63.7	1.9	2.1
男性	939	55.6	40.1	43.9	16.1	10.8	9.5	34.8	57.3	2.4	2.2
女性	1,239	55.3	47.0	49.6	11.8	8.4	8.3	32.7	68.6	1.5	1.9

【性別・年齢別】

他に比べ、「女性の30歳代」で「登下校時の児童や、一人暮らしなどの高齢者の見守り活動を行う」「地震や火災、水害など災害が起きた時のために防災訓練を行う」の割合が高くなっています。また、「女性の75歳以上」で「近隣住民とのあいさつなど、近所づきあいを良くする」の割合が、「男性の60～64歳」で「日頃から地域の防犯パトロールや防犯活動に積極的に参加する」の割合が、「女性の18～29歳」で「一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	地域内の危険箇所や不安箇所の点検を行い、安全安心マップを作成する	登下校時の児童や、一人暮らしなどの高齢者の見守り活動を行う	近隣住民とのあいさつなど、近所づきあいを良くする	日頃から地域の防犯パトロールや防犯活動に積極的に参加する	交通安全や転倒予防、防犯などに関する学習会を開く	詐欺や自殺などの予防について、市の出前講座を利用して理解を深める	地震や火災、水害など災害が起きた時のために防災訓練を行う	一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける	その他	無回答
全体	2,194	55.5	44.1	47.1	13.6	9.3	8.8	33.5	63.7	1.9	2.1
男性 18～29歳	71	53.5	31.0	23.9	15.5	9.9	9.9	32.4	54.9	2.8	1.4
30歳代	105	44.8	32.4	37.1	16.2	11.4	9.5	35.2	50.5	1.0	1.9
40歳代	153	56.2	52.9	47.7	20.9	15.0	9.8	39.9	54.2	5.2	3.3
50歳代	161	55.9	37.3	34.2	13.0	10.6	11.8	37.9	59.6	1.9	1.9
60～64歳	95	57.9	38.9	38.9	28.4	11.6	11.6	28.4	55.8	3.2	2.1
65～69歳	132	56.8	34.8	51.5	12.9	10.6	9.8	34.8	58.3	3.0	0.8
70～74歳	130	58.5	42.3	53.1	12.3	6.9	3.8	31.5	63.1	1.5	3.1
75歳以上	91	60.4	46.2	59.3	11.0	8.8	9.9	34.1	60.4	—	2.2
女性 18～29歳	99	48.5	35.4	41.4	16.2	11.1	10.1	42.4	74.7	—	2.0
30歳代	148	48.6	58.8	48.6	16.2	8.8	8.8	47.3	62.8	1.4	—
40歳代	214	53.7	54.2	45.8	16.4	8.4	9.8	35.0	67.8	3.3	1.4
50歳代	221	54.8	45.7	44.8	11.8	10.4	8.6	30.8	61.1	1.8	1.4
60～64歳	140	62.1	45.0	47.9	9.3	5.0	7.9	30.0	72.9	1.4	0.7
65～69歳	151	59.6	42.4	53.0	6.0	9.3	7.9	23.2	70.2	0.7	2.6
70～74歳	161	59.0	49.1	55.9	7.5	6.2	5.6	30.4	74.5	—	3.7
75歳以上	105	54.3	35.2	64.8	10.5	7.6	7.6	22.9	71.4	1.9	3.8

## 【ブロック別】

他に比べ、「東部 A」で「地域内の危険箇所や不安箇所の点検を行い、安全・安心マップを作成する」の割合が、「中央東部」で「登下校時の児童や、一人暮らしなどの高齢者の見守り活動を行う」の割合が高くなっています。また、「西部 A（城島）」で「近隣住民とのあいさつなど、近所づきあいを良くする」「交通安全や転倒予防、防犯などに関する学習会を開く」の割合が、「東部 B（田主丸）」で「日頃から地域の防犯パトロールや防犯活動に積極的に参加する」「交通安全や転倒予防、防犯などに関する学習会を開く」「詐欺や自殺などの予防について、市の出前講座を利用して理解を深める」の割合が、「中央南部」で「交通安全や転倒予防、防犯などに関する学習会を開く」の割合が、「北部 B（北野）」で「地震や火災、水害など災害が起きた時のために防災訓練を行う」の割合が、「中央部」で「一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける」の割合が、「南西部」で「一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	地域内の危険箇所や不安箇所の点検を行い、安全・安心マップを作成する	登下校時の児童や、一人暮らしなどの高齢者の見守り活動を行う	近隣住民とのあいさつなど、近所づきあいを良くする	日頃から地域の防犯パトロールや防犯活動に積極的に参加する	交通安全や転倒予防、防犯などに関する学習会を開く	詐欺や自殺などの予防について、市の出前講座を利用して理解を深める	地震や火災、水害など災害が起きた時のために防災訓練を行う	一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける	その他	無回答
全体	2,194	55.5	44.1	47.1	13.6	9.3	8.8	33.5	63.7	1.9	2.1
東部 A	144	62.5	47.2	52.1	12.5	10.4	6.9	41.7	66.0	2.8	—
東部 B（田主丸）	131	53.4	48.1	48.9	18.3	11.5	13.7	41.2	60.3	—	1.5
北部 A	165	51.5	46.7	44.2	13.3	9.1	7.9	40.0	64.8	3.6	0.6
北部 B（北野）	145	55.2	40.7	46.2	13.8	7.6	9.0	46.2	54.5	2.1	3.4
中央東部	253	55.3	49.0	46.2	14.2	9.5	7.9	30.0	58.5	4.7	2.4
南東部	202	55.9	41.6	49.0	13.9	10.4	9.4	30.2	60.4	0.5	2.5
中央部	266	54.1	45.5	44.7	13.5	10.9	10.5	37.6	67.7	1.5	0.8
中央南部	345	59.4	45.2	47.0	11.9	11.0	9.9	30.1	66.7	0.9	2.9
南西部	207	50.7	38.2	44.4	13.5	6.3	7.7	26.6	67.6	1.9	2.4
西部 A（城島）	62	50.0	41.9	53.2	16.1	11.3	12.9	41.9	62.9	—	—
西部 B（三瀬）	148	60.8	47.3	48.0	13.5	5.4	4.7	25.7	59.5	2.0	1.4

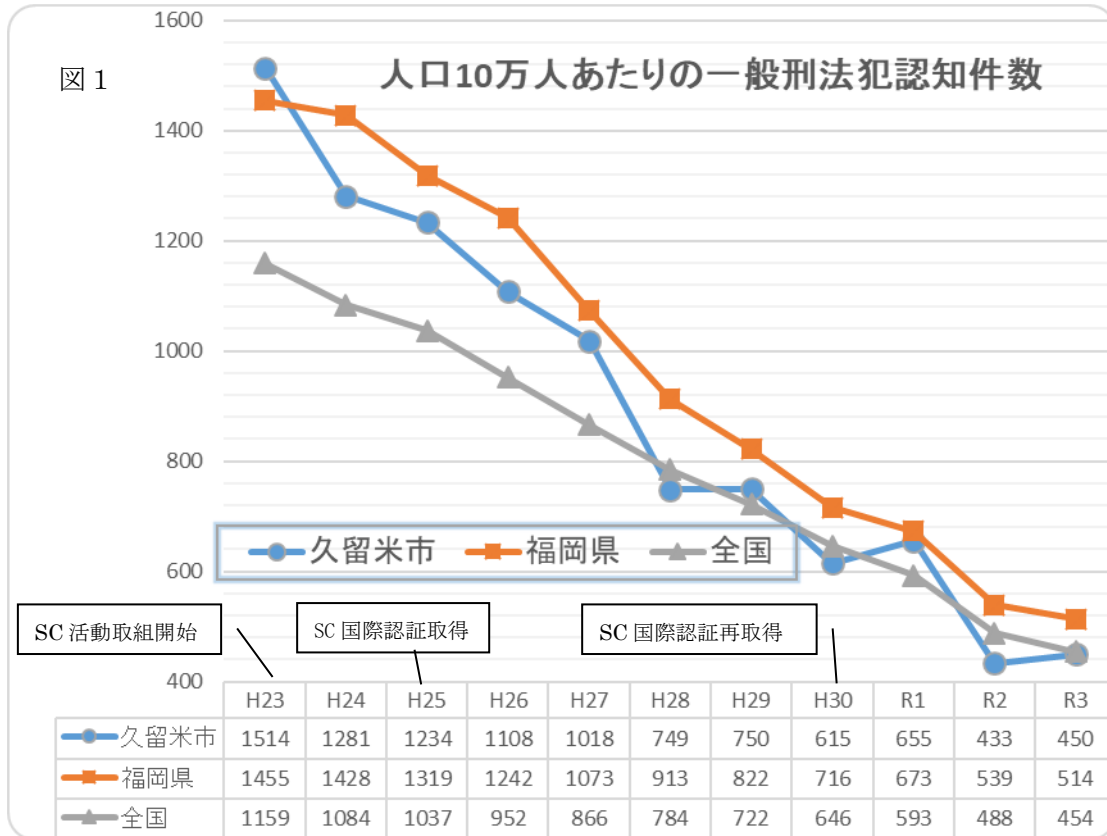
## 久留米市における犯罪の現状について

### ① 人口10万人当りの一般刑法犯認知件数の推移（比較:全国、福岡県）

一般刑法犯認知件数は年々減少している。

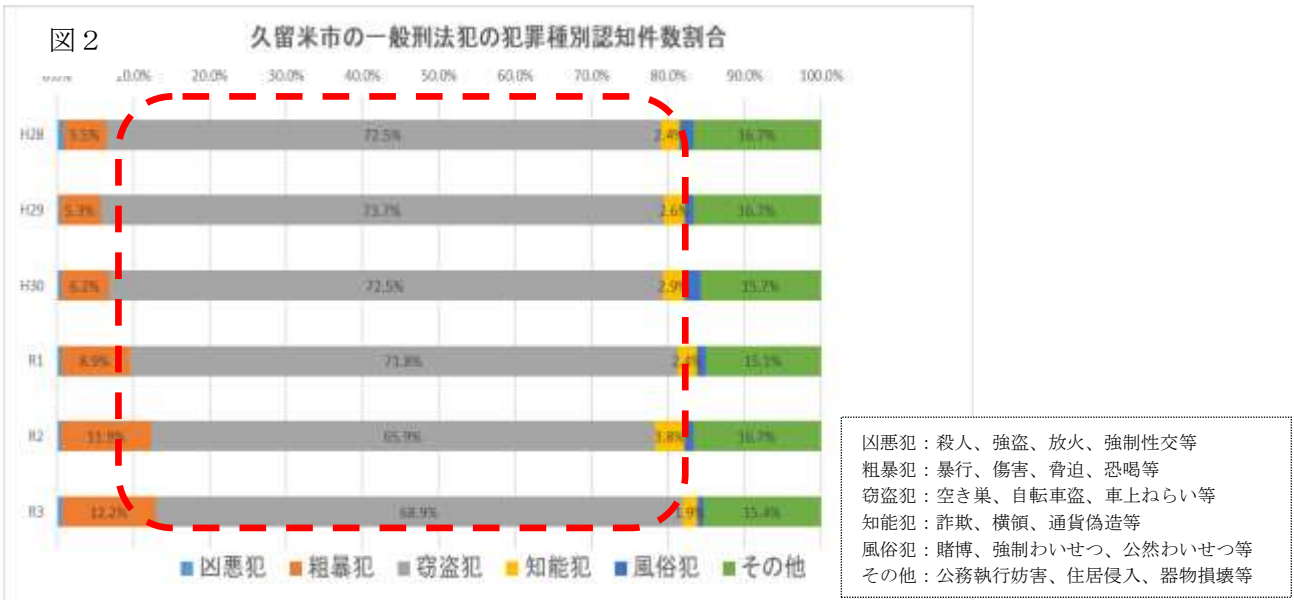
以前は全国、県よりも高い水準であったが、R3は全国とほぼ同水準となっている。

※一般刑法犯：刑法犯全体から交通関係業過（交通事故によって人を死傷させた過失犯）を除いたもの



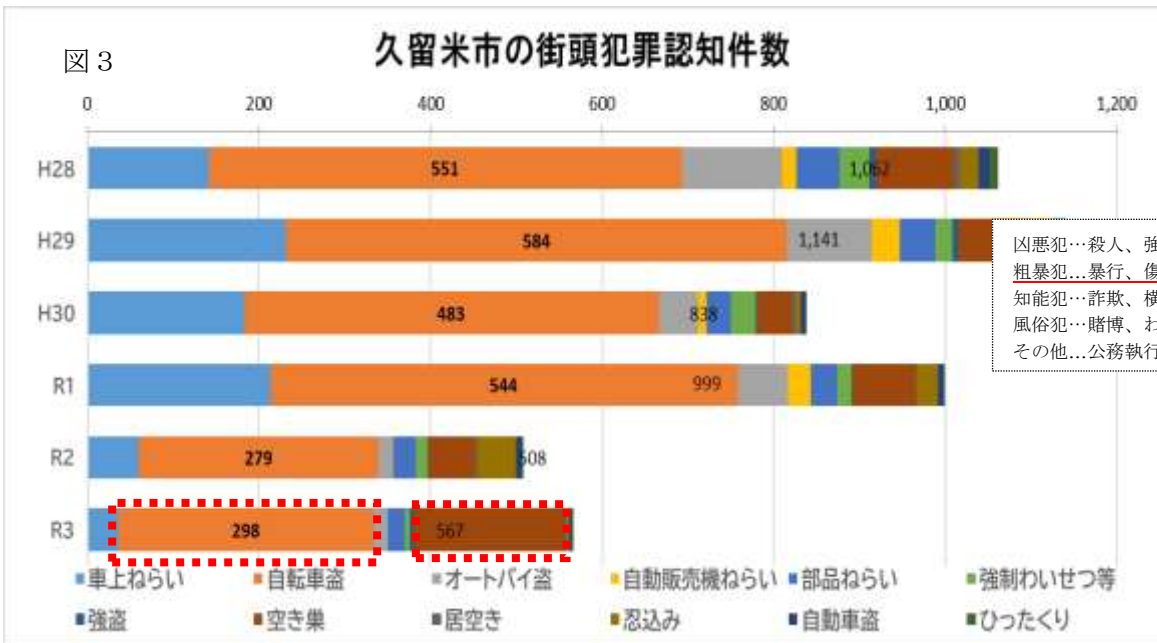
### ② 久留米市の一般刑法犯認知件数の割合の推移

自転車盗やオートバイ盗などの「窃盗犯」が市内の一般刑法犯の約7割を占めている



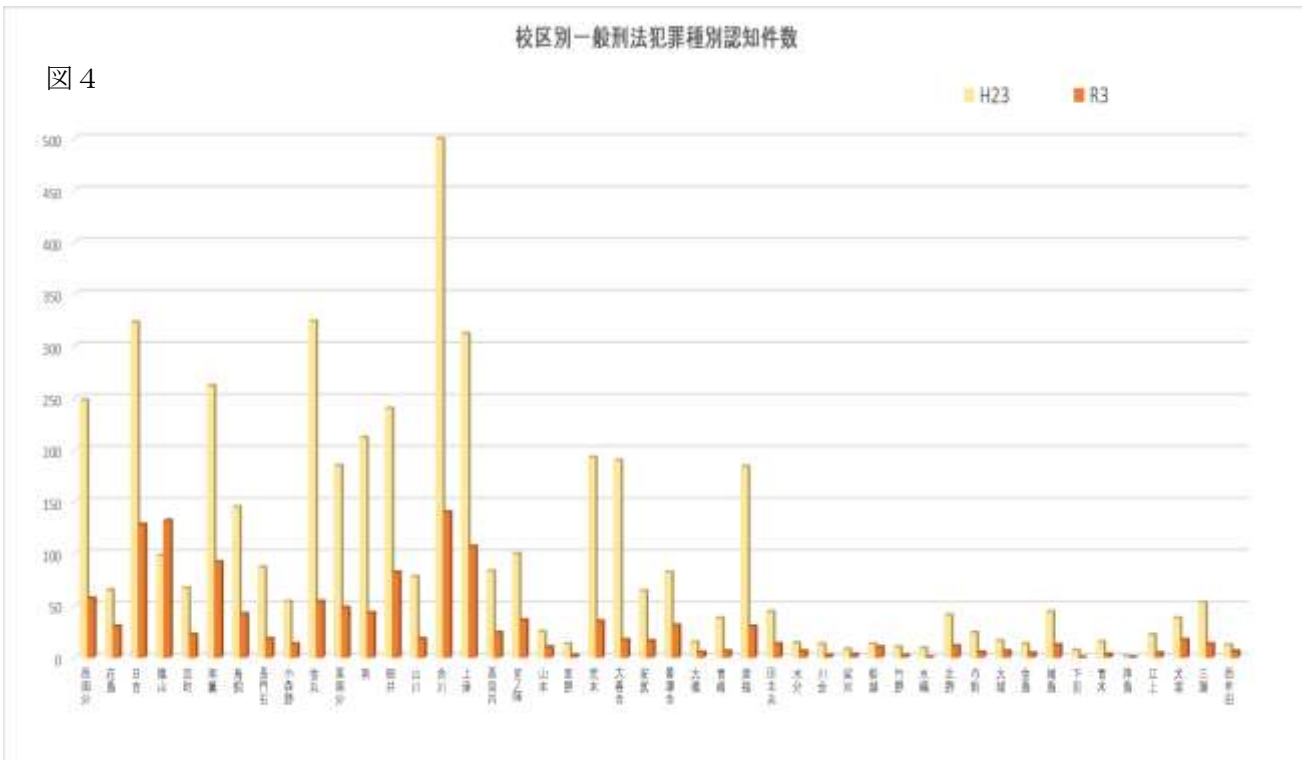
### ③ 久留米市の街頭犯罪認知件数の推移

市内の街頭犯罪の半数以上は、「自転車盗」が占めている。また、近年の傾向として、「空き巣」が増加、「車上ねらい」は減少している。



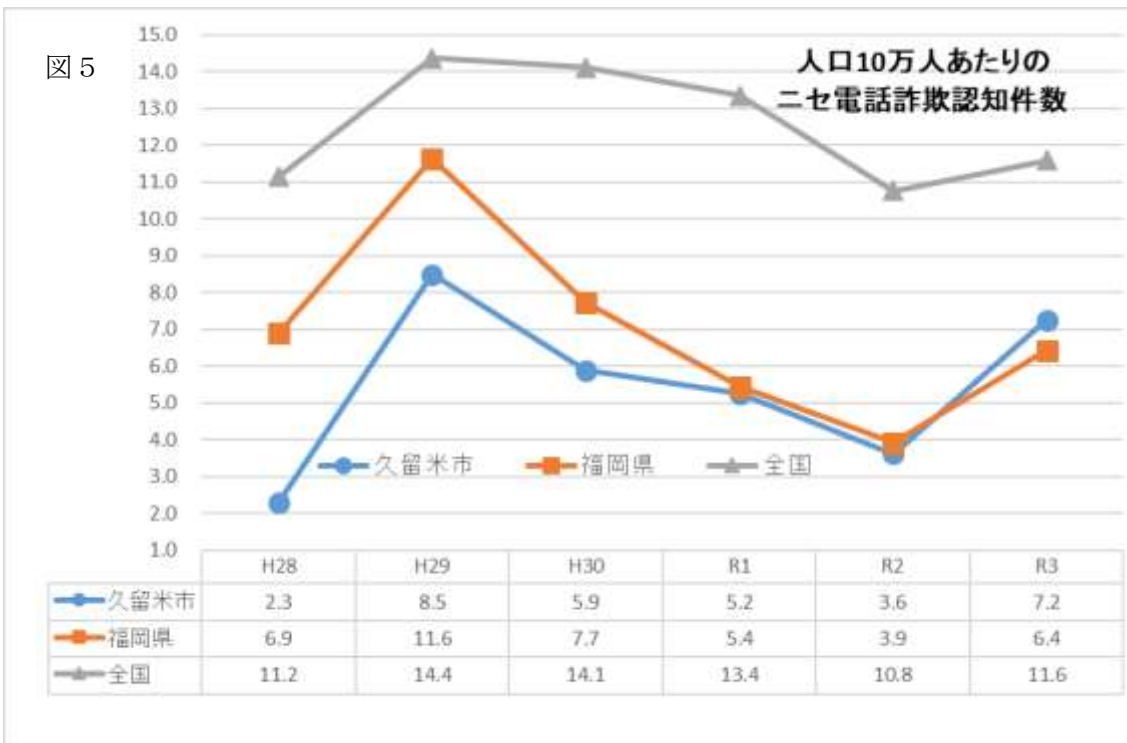
### ④ 校区別一般刑法犯認知件数の比較 (H23 と R3)

平成 23 年に比べ、令和 3 年は、ほぼ全ての校区で犯罪認知件数が大幅に減少している。また、大規模商業施設、乗降客が多い駅、繁華街がある校区の犯罪認知件数が、多い傾向にある。



⑤ 人口10万人当たりのニセ電話詐欺認知件数の推移（比較:全国、福岡県）

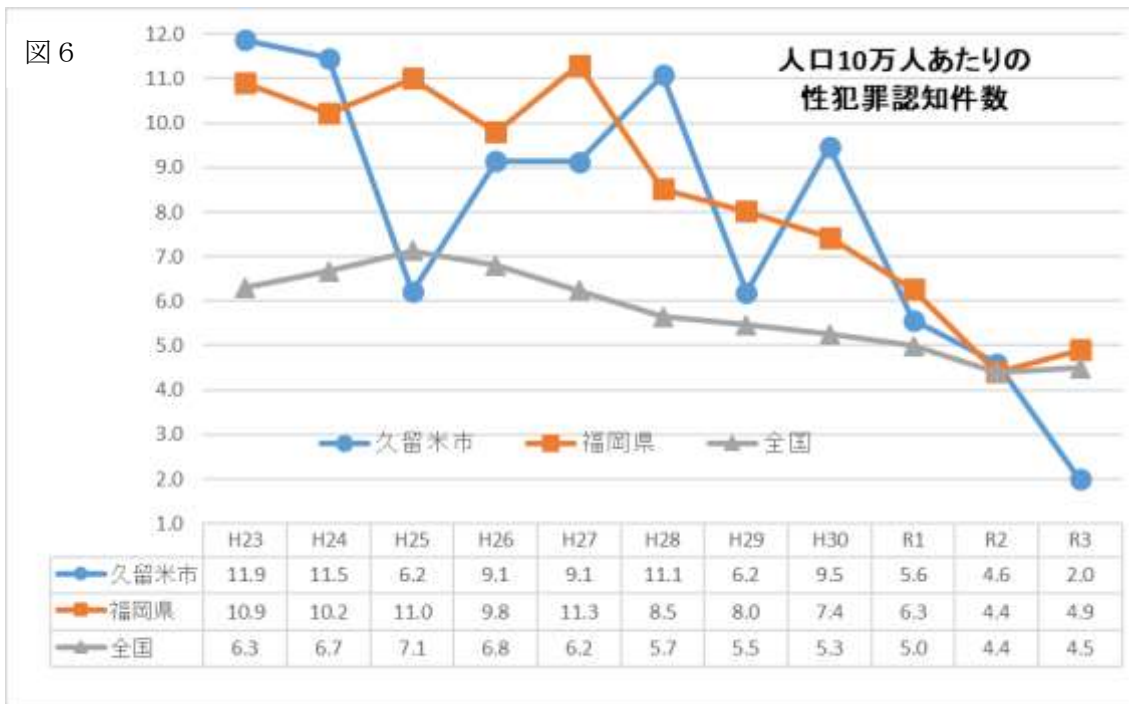
ニセ電話詐欺の人口10万人当たりの認知件数は、平成29年以降改善傾向であったが、令和3年に増加しており、県の水準を上回っている。





⑥ 人口10万人当たりの性犯罪(強制わいせつ等)の推移(比較:全国、福岡県)

久留米市で発生した性犯罪の人口10万人当たりの認知件数は、増減を繰り返しているが、全体的には減少傾向にある。令和3年は、全国・県を下回っている。



SC活動取組開始

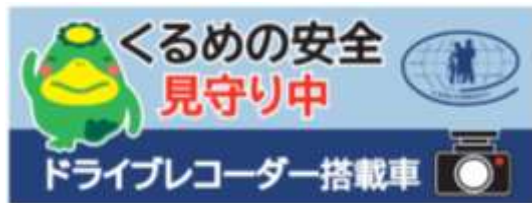
## 令和3年度取り組み実績及び令和4年度取り組み方針（案）

【防犯力の向上】5-① 自転車ツーロックの推進							
課題	客観的課題	街頭犯罪の中では「自転車盗」が最も多い					
	主観的課題	割れ窓理論に照らすと、自転車盗の放置が凶悪犯罪を誘発する危険性がある					
目標	自転車盗の認知件数の減少						
内容	自転車駐車場や商業施設など自転車盗が多く発生する箇所において、無施錠車に対して、ワイヤーロックの安全性等を啓発し、自転車ツーロック推進を呼びかけるなど、自転車利用者に対して、ツーロックの推進を図る。						
対象者	自転車利用者（主に無施錠車）						
実施者	市民・事業者・防犯協会・警察・市 など						
対策委員会の関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭啓発キャンペーンの実施</li> <li>・委員の所属団体や関係団体における啓発、団体広報誌等への記事掲載</li> <li>・チラシ、啓発グッズの作成</li> </ul>						
2021年度の実績及び改善した点等	<p>○交通安全分野と連携した自転車ツーロックの啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車安全利用の啓発時に、警察・関係団体・ボランティアと協働でキャンペーン実施（2回）</li> <li>・小学生を対象とした交通安全教室での自転車ツーロック啓発（18回）</li> </ul> <p>○地域や他団体が行う催しでの啓発（3回）【新規】</p> <p>○市内全中学校の新1年生へ啓発チラシ配布（3,000部）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>						
2022年度の方針及び課題等	<p><b>SNSや各団体の広報紙等を活用した防犯情報の提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な媒体を活用して、ツーロックの重要性等を周知</li> </ul> <p><b>他分野との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全分野と連携</li> </ul>						
指標	内容	単位	2017	2018	2019	2020	2021
活動指標	自転車駐車場や商業施設などでの啓発活動回数	回	14	18	5	2	2
【短期】認識・知識	自転車ツーロックの実践状況 [アンケート]	%	45.1	32.6	28.9	—	—
【中期】態度・行動	久留米市は治安が良いと思う人の割合 [市政アンケートモニター]	%	67.7	74.8	75.2	—	75.8
【長期】状況	街頭犯罪の中で、自転車盗の認知件数 [警察統計]	件	584	483	544	279	298

新型コロナウイルス感染症の影響により、自転車利用アンケートは延期

## 【防犯力の向上】5-② 青パト活動の充実・連携強化

課題	客観的課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の日常の行動範囲内で発生する「街頭犯罪」が多い</li> <li>・犯罪などへの不安感が高まった人が、安心感が高まった人を上回っている</li> </ul>					
	主観的課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防犯活動の内容は校区によりばらつきがある</li> </ul>					
目標	街頭犯罪認知件数の減少						
内容	青パト活動の充実を図るとともに、各団体参加による合同パトロール等を実施する。						
対象者	一般市民						
実施者	市民・校区・PTA・企業・防犯協会・警察・市 など						
対策委員会の関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種支援事業の周知</li> <li>・合同パトロール、研修会等の開催</li> <li>・青パト活動への参加</li> </ul>						
2021年度の実績及び改善した点等	<p>○市内全域で、地域や関係団体による定期的な青パト活動の実施</p> <p>○一斉防犯パトロールの実施（7月、12月、3月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の青パト活動団体が、市内各地を一斉にパトロール。</li> </ul> <p>○校区青パトによるニセ電話詐欺の注意喚起（14回）【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アポ電の発生校区と連携した、青パトによるニセ電話詐欺のタイムリーな注意喚起を実施</li> </ul> <p>○警察と連携した年末特別警戒出発式（11月）</p> <p>○安全見守りステッカーの作成【新規】</p> <p>青パトの防犯効果を高めるため、「安全見守り中 ドライブレコーダー搭載車」ステッカーを作成</p>						
2022年度の方針及び課題等	<p><b>青パト活用の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の青パト活動の促進に向けた情報提供等</li> </ul> <p><b>他分野との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全分野との連携</li> </ul>						
指標	内容	単位	2017	2018	2019	2020	2021
活動指標	青パト活動を行う校区数 (うち、専用青パト活動校区)	校区	40 (40)	41 (41)	44 (44)	45 (45)	45 (45)
【短期】認識・知識	地域で行われている防犯活動に参加 したいと思う人の割合 [市政アンケートモニター]	%	56.2	53.3	49.2	-	45.5
【中期】態度・行動	防犯パトロール実施にあたり連携する 関係機関・団体数	団体	46	47	51	52	52
【長期】状況	街頭犯罪の認知件数[警察統計]	件	1,141	838	999	508	567



## 【防犯力の向上】5-③ 安全・安心感を高めるための地域環境の整備

課題	客観的課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型商業施設や乗降客の多い駅、繁華街周辺で犯罪が多く発生している</li> <li>・犯罪などへの不安感が高まった人が、安心感が高まった人を上回っている</li> </ul>						
	主観的課題	不特定多数の人が集まる場所で犯罪が多い						
目標	街頭犯罪認知件数の減少							
内容	地域、行政、警察、関係団体などが一体となって、犯罪が起りやすいと思われる場所について、それぞれ危険の原因を取り除く方策（街頭防犯カメラ、防犯灯、注意喚起の看板の設置等）を講じる。							
対象者	一般市民（犯罪が起りやすいと想定される地域、場所）							
実施者	市民・校区・PTA・防犯協会・警察・市 など							
対策委員会の関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助制度等の周知</li> <li>・委員の所属団体等における啓発</li> </ul>							
2021年度の実績及び改善した点等	<p>○街頭防犯カメラの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市補助を活用した地域による設置（10台／7団体）</li> </ul> <p>※延べ設置台数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市設置 98台</li> <li>・地域による設置 83台（54団体） 計181台</li> </ul> <p>○校区便り等を活用した、街頭防犯カメラ設置の周知</p> <p>○LED防犯灯の設置推進（市防犯灯設置費補助金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の必要な箇所にLED防犯灯を設置し生活環境を向上</li> </ul> <p>○街頭防犯カメラのネットワーク化（9台）【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事件・事故の早期解決を図るため、警察からの捜査協力頻度が高いカメラをネットワーク化</li> </ul>							
2022年度の方針及び課題等	<p><b>街頭防犯カメラ設置による安心感の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪発生状況等を踏まえ、地域と警察と連携した街頭防犯カメラ設置の推進</li> <li>・街頭防犯カメラ設置状況の周知啓発による犯罪抑止</li> </ul> <p><b>防犯灯設置の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情に併せた防犯灯設置の推進</li> </ul>							
指標	内容	単位	2017	2018	2019	2020	2021	
活動指標	①防犯灯設置費補助件数	件	1,636	1,558	1,402	1035	798	
	②街頭防犯カメラ設置補助台数	台	15	17	17	14	10	
【短期】認識・知識	この2～3年で治安が良くなったと思う人の割合[市政アンケートモニター]	%	45.4	40.8	45.1	—	42.8	
【中期】態度・行動	久留米市は治安が良いと思う人の割合[市政アンケートモニター]	%	67.7	74.8	75.2	—	75.8	
【長期】状況	街頭犯罪の認知件数[警察統計]	件	1,141	838	999	508	567	



【防犯力の向上】5-④ 暴力団壊滅市民総決起大会等の開催							
課題	客観的課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に本拠を置く指定暴力団の構成員数は減少傾向にあるが、県内に占める割合は増加</li> <li>・犯罪などへの不安感が高まった人が、安心感が高まった人を上回っている</li> </ul>					
	主観的課題	発砲事件などの暴力団犯罪により治安が悪くなったと感じる人が多い					
目標	暴力団の構成員の減少、暴力団の壊滅						
内容	地域社会全体で暴力団壊滅追放に取り組むため、警察、行政、市民、事業者が連携し、市民総決起大会を開催する。また、一部小学校区で実施されている暴追大会などを全小学校区で実施されるよう拡充を図る。						
対象者	一般市民						
実施者	市民・校区・PTA・防犯協会・暴力追放推進協議会・警察・市 など						
対策委員会の関わり	暴力団壊滅市民総決起大会への参加 委員の所属団体等における暴力団排除の取り組み						
2021年度の実績及び改善した点等	<p>○暴力団壊滅市民総決起大会の開催（12.1開催 久留米シティプラザ 参加者 160人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染防止のため、6月期大会は中止。12月大会は参加人数を制限し実施。</li> </ul> <p>○暴力団壊滅リレーメッセージ動画による啓発【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長、警察署長、市議会議長によるリレーメッセージ動画を市内各地で放映</li> </ul> <p>○校区と連携した暴追活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校区の暴追大会や啓発の際に、啓発物提供等の支援。補助金交付（41校区）</li> <li>・暴力団対策に関する出前講座の開催（2校区）</li> </ul> <p>○暴力団対策をテーマとしたセーフコミュニティ通信発行（1月）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>						
2022年度の方針及び課題等	<p><b>コロナ禍における啓発活動の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暴力団情勢に応じ、感染症対策を実施した大会や会議の開催</li> <li>・様々な広報媒体を活用した啓発活動の実施</li> </ul> <p><b>地域における暴追活動の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情に併せた暴追活動の充実を図る</li> </ul> <p><b>関係機関と連携した暴排活動の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民等と行う暴排活動や暴力団事務所撤去運動に対し、警察や弁護士等と連携して対策の検討や情報提供等を実施</li> </ul>						
指標	内容	単位	2017	2018	2019	2020	2021
活動指標	暴力団壊滅市民総決起大会の開催数	回	2	2	2	1	1
【短期】認識・知識	暴力団壊滅市民総決起大会の参加者数	人	1,500 2,000	1,500 2,000	1,500 2,000	31	160
【中期】態度・行動	独自の暴追取り組みを行っている校区数	校区	41	42	42	41	41
【長期】状況	市内に事務所を置く暴力団の構成員数 [警察統計]	人	430	420	390	370	320

**【防犯力の向上】5-⑤ 児童生徒、青少年への暴力団の実態や構成員になるのを防ぐための研修や啓発の実施**

課題	客観的課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に本拠を置く指定暴力団の構成員数は減少傾向にあるが、依然勢力を保っている</li> <li>・犯罪などへの不安感が高まった人が、安心感が高まった人を上回っている</li> </ul>						
	主観的課題	発砲事件などの暴力団犯罪により治安が悪くなったと感じる人が多い						
目標	暴力団の構成員の減少、暴力団の壊滅							
内容	中学生・高校生が対象であった暴力団関連の講話や啓発を小学生高学年に拡大し、暴力団の構成員になるのを防ぐことで、暴力団の弱体化を図る							
対象者	小学校高学年・中学生・高校生							
実施者	市民・学校・PTA・青少年育成団体・暴力追放推進協議会・警察・市など							
対策委員会の関わり	啓発内容に関する関係機関等との調整							
2021年度の実績及び改善した点等	<p>○警察による、中学生、高校生を対象とした講習（「暴排先生」）の実施（実績 31回）</p> <p>○主に小学生を対象とした薬物乱用防止や非行防止の講習の実施（実績 79回）</p> <p>○広報紙等を活用したニセ電話詐欺や薬物乱用防止の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌「青少年のきずな」に薬物乱用防止及び非行・被害防止の記事を掲載</li> </ul> <p>○小学生を対象に防犯や非行防止をテーマとしたポスターを募集。入選作品は、JR 久留米駅に掲示</p>							
	 							
2022年度の方針及び課題等	<p><b>年齢に応じた教室・教育の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生には、非行防止やルール・マナー遵守の教育の中で暴力団に関する内容に触れ、中学生や高校生には、暴力団の実態や被害防止に向けた講習を実施</li> </ul> <p><b>地域行事等を活用した啓発・教育活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校区暴追協による地域行事等での啓発活動</li> </ul> <p><b>【5-②関連】一斉パトロールの実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の非行防止、健全育成を目的としたパトロールを実施</li> </ul>							
指標	内容	単位	2017	2018	2019	2020	2021	
活動指標	暴力団排除などの防犯教育活動を行った学校数	校	128	150	109	87	110	
【短期】認識・知識	不良行為少年補導数[警察統計]	人	2,214	1,237	1,234	1,066	947	
【中期】態度・行動	市内の刑法犯少年・検挙補導数[警察統計]	人	101	100	67	56	53	
【長期】状況	市内に事務所を置く暴力団の構成員数[警察統計]	人	430	420	390	370	320	

【防犯力の向上】5-⑥ 犯罪弱者に対するタイムリーな情報発信・啓発

課題	客観的課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に高齢者を狙ったニセ電話詐欺の被害が急激に増加</li> <li>・一般刑法犯認知件数は減少傾向にあるなか、性犯罪認知件数は増減を繰り返している。</li> </ul>					
	主観的課題	高齢者や女性などが犯罪被害に遭いやすい傾向があり、これらを狙った新たな犯罪が常に生まれ続けている					
目標	ニセ電話詐欺、性犯罪被害等を減少させるため、多くの方へ情報発信する						
内容	ニセ電話詐欺やサイバー犯罪、性犯罪など、高齢者や女性など被害に遭いやすい傾向にある者を狙った犯罪について、発生状況等に応じ、タイムリーな情報発信による注意喚起意を行う。						
対象者	一般市民（高齢者、女性など）						
実施者	市民・事業者・防犯協会・警察・市 など						
対策委員会の関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭啓発キャンペーンの実施</li> <li>・委員の所属団体や関係団体における啓発、団体広報誌等への記事掲載</li> <li>・チラシ、啓発グッズの作成</li> </ul>						
2021年度の実績及び改善した点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ニセ電話詐欺や悪質商法に関する出前講座（26回）</li> <li>○性犯罪防止街頭キャンペーンの実施&lt;12月&gt;</li> <li>○校区青パトによるニセ電話詐欺の注意喚起（14回）【新規】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・予兆電話の発生校区と連携した、青パトによるニセ電話詐欺の注意喚起を実施</li> </ul> </li> <li>○広報紙やメール配信を活用した犯罪情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報くるめや市公式YouTube等によるニセ電話詐欺の注意喚起&lt;10月&gt;【新規】</li> <li>・ニセ電話詐欺をテーマにしたセーフコミュニティ通信発行&lt;5月&gt;</li> <li>・ラジオ「ドリームスFM」の帯番組内でニセ電話詐欺の注意喚起【新規】</li> <li>・予兆電話の発生にあわせ、報道各社へ情報提供</li> </ul> </li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>						
2022年度の方針及び課題等	<p><b>SNSや各団体の広報紙等を活用した防犯情報の提供</b></p> <p><b>犯罪の動向に応じた情報提供の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭啓発や出前講座により最新の手口等を周知</li> <li>・広報媒体による注意喚起</li> </ul> <p><b>《課題》より多くの市民に周知できる方策の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発ツールの検討、各種団体等との連携</li> </ul>						
指標	内容	単位	2017	2018	2019	2020	2021
活動指標	犯罪の動向に応じた啓発活動・出前講座回数	回	73	87	67	9	24
【短期】認識・知識	この2～3年で治安が良くなったと思う人の割合[市政アンケートモニター]	%	45.4	40.8	45.1	—	42.8
【中期】態度・行動	久留米市は治安が良いと思う人の割合[市政アンケートモニター]	%	67.7	74.8	75.2	—	75.8
【長期】状況	①ニセ電話詐欺被害件数・阻止件数	被害(件) 阻止(件)	26 (48)	18 (34)	16 (20)	11 (24)	22 (62)
	②性犯罪認知件数[警察統計]	件	19	29	17	14	6

2021 年度実績

重点取り組み項目	No	具体的施策名
犯罪の防止・ 防犯力の向上	5-①	自転車ツーロックの推進
	5-②	青パト活動の充実・連携強化
	5-③	安全・安心感を高めるための地域環境の整備
	5-④	暴力団壊滅市民総決起大会等の開催
	5-⑤	児童生徒、青少年への暴力団の実態や構成員になるのを防ぐための研修や啓発の実施
	5-⑥	犯罪弱者に対するタイムリーな情報発信・啓発

ア. 成果〈数値で表せるもの〉

一般刑法犯認知件数（久留米市）

〔警察統計〕



イ. 2021 年度の取り組みで最も成功した事例

【全国暴力追放功労団体表彰を受賞】

久留米市暴力追放推進協議会は、暴力団壊滅市民総決起大会などの地域社会が一体となった取り組みが評価され、「全国暴力追放功労団体」として表彰を受けた。

【住民運動による暴力団事務所の撤去】

地域住民による暴力団事務所の使用禁止等を求めていた裁判で和解が成立。その後、警察により当該事務所の撤去が確認された。



## ウ. 2021 年度で最も積極的に取り組んだ活動

### コロナ禍での啓発の多様化、他分野との連携



感染対策を施し大会を実施



市内各地で啓発動画の放映



SNS を活用した啓発



関係団体が行うイベントでの啓発  
※写真は老人クラブ福祉大会での啓発のようす  
(高齢者安全対策との連携)



小学生のポスターを掲示するようす  
(福岡県警、校区防犯協会との連携)



自転車の安全利用教室でツーロックの啓発  
(交通安全との連携)

## エ. 分野横断的に行っていること

- ・交通安全分野と連携した自転車ツーロックの啓発
- ・ニセ電話詐欺・性犯罪防止対策（消費生活センター、警察、校区防犯協会、宅建協会など）

オ. 今後の方向性や取り組みを進める上での課題

**【コロナ禍における啓発活動等について】**

イベント開催時には、感染対策を徹底すると共に、メディアやSNSを活用した啓発を積極的に取り入れる。

**【ニセ電話詐欺などの対策強化】**

ニセ電話詐欺が全国的に多発するなか、様々な場面でタイムリーな情報発信・啓発を行うと共に、実効性がある取り組みについても検討していく。

**【暴力団対策】**

北九州市や大牟田市における暴力団対策や県条例の改正による規制の強化など、去年は県内の取り組みが大きく前進した。これを機に、地域社会が一体となり、暴力団壊滅に向けた気運醸成を図る。

# 2022 年度取り組み方針

具体的施策		2022 年度取り組み方針
5-①	自転車ツーロックの推進	<p><b>SNSや各団体の広報誌等を活用した防犯情報の提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な媒体を活用して、ツーロックの重要性等を周知する。</li> </ul> <p><b>他分野との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全分野との連携</li> </ul>
5-②	青パト活動の充実・連携強化	<p><b>青パト活用の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の青パト活動の促進に向けた情報提供等の支援</li> </ul> <p><b>他分野との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全分野との連携</li> </ul>
5-③	安全・安心感を高めるための地域環境の整備	<p><b>街頭防犯カメラ設置による安心感の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>犯罪発生状況等を踏まえ、地域や警察と連携した街頭防犯カメラ設置の推進</li> <li>街頭防犯カメラ設置状況の周知啓発による犯罪抑止</li> </ul> <p><b>防犯灯設置の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の実情に併せた防犯カメラ設置の推進</li> </ul>
5-④	暴力団壊滅市民総決起大会等の開催	<p><b>コロナ禍における啓発活動の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>暴力団情勢に応じ、感染症対策を実施した大会や会議の開催</li> <li>様々な広報媒体を活用した啓発活動の実施</li> </ul> <p><b>地域における暴追活動の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の実情に併せた暴追活動の充実を図る</li> </ul> <p><b>関係機関と連携した暴排活動の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民等と行う暴排活動や暴力団事務所撤去運動に対し、警察や弁護士等と連携して、対策の検討や情報提供、資金面の援助等を実施</li> </ul>
5-⑤	児童生徒、青少年への暴力団の実態や構成員になるのを防ぐための研修や啓発の実施	<p><b>年齢に応じた教室・教育の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生には、非行防止やルール・マナー遵守の教育の中で暴力団に関する内容に触れ、中学生や高校生には、暴力団の実態や被害防止に向けた講習を実施</li> </ul> <p><b>地域行事等を活用した啓発・教育活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校区暴追協による地域行事等での啓発活動</li> </ul> <p><b>【5-②関連】一斉パトロールの実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>青少年の非行防止、健全育成を目的としたパトロールを実施</li> </ul>
5-⑥	犯罪弱者に対するタイムリーな情報発信・啓発	<p><b>SNS や各団体の広報紙等を活用した防犯情報の提供</b></p> <p><b>犯罪の動向に応じた情報提供の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>街頭啓発や出前講座により最新の手口等を周知</li> <li>広報媒体による注意喚起</li> </ul>